

令和7年度 定期モニタリング評価表（中間）					実施用
施設名	枚方市立生涯学習交流センター・市駅前図書館	所管部署 (連絡先)	観光にぎわい部文化生涯学習課（072-841-1409） 教育委員会中央図書館（050-7105-8110）		令和 7年 10月実施

この定期モニタリングでは、以下の表の評価項目・視点により確認を行いました。

評価項目		評価の視点
1 業務の履行状況	事業・業務等が適正に実施されているか否かについて、実施状況・実施体制を確認します。	
	(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	市民ニーズの把握・対応状況 アンケート調査等の実施により、市民（利用者）のニーズを把握し、その結果を踏まえて改善を行っているかについて確認します。
	(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）	経済性 料金収入や委託料等の収支状況について、当初の収支計画と乖離がないか、適正な内容となっているかについて確認します。
	(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項	サービス水準 指定管理者によるサービス水準が適切なものとなっているかについて確認します。
		リスクマネジメント 緊急事態発生時や機器・設備故障時等における対応状況や、対応体制・対応方法について確認します。
2 業務の継続性・安定性		指定管理者の財務状況が継続的、安定的にサービスを提供できる状態にあるかについて確認します。

施設の概要等			
所在地	枚方市岡東町1 9 番 1 号		
設置目的	【生涯学習市民センター】 市民の学習活動及び芸術等の文化活動を支援するとともに、地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進することにより、市民が生涯にわたって学び続けることのできる環境を醸成し、並びにこれらの活動を通じた市民との協働によるまちづくりを推進する。 【図書館】 図書その他必要な資料を収集し、整理し、及び保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、余暇活動等に資するため、図書館を本館並びに分館（分館館舎）を設置する。	主な業務内容	【生涯学習市民センター】 ・生涯学習活動に係る情報の収集及び提供を行うこと。 ・生涯学習活動に係る交流の促進その他生涯学習活動の支援を行うこと。 ・センターの施設及び附属設備を生涯学習活動及び協働によるまちづくりに係る活動の用に供すること。 ・センターの施設等を社会教育法(昭和24年法律第207号)に基づく社会教育事業の用に供すること。 【図書館】 ・教育と文化の発展に係る図書館事業の実施に関すること。 ・読書案内及びレファレンスに関すること。 ・図書館資料の選択、貸出し、整理、修理、保存および除籍に関すること。
指定管理期間	令和6年6月1日から令和10年3月31日 (2024年6月1日から2028年3月31日)		
指定管理者			
名称 (JVの場合はグループ名)	株式会社図書館流通センター	代表団体 (JVの場合)	
所在地(JVの場合は代表団体の所在地)	東京都文京区大塚三丁目1 番 1 号	構成団体 (JVの場合)	

1 業務の履行状況

(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項

評価ポイントごとの評価基準
5 計画以上に独自の新たなサービスを提供し、特に良好な管理運営を行っている
4 計画以上の良好な管理運営を行っている
3 計画どおりの適正な管理運営を行っている
2 一部計画どおりにできていない、又は改善が必要であるが、概ね適切な管理運営を行っている
1 全く計画どおりにできていない、又は一部不適切な管理運営が行われている

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価		評価の根拠 (資料名等)
	評価	評価理由	評価	評価理由	
【施設の経営方針に関する事項】					
①施設の現状に対する考え方及び将来展望					
施設の設置目的等を踏まえた現状認識及び今後の方向性が明確に提案されている（確認事項9）					
・現状認識を踏まえた管理運営目標「すべての人に開かれた暮らしを彩る学びと体験のインフラ」に基づく、各事業・サービスを実施しているか。	3	センターでは今年度も仕様書の規定数を上回る約60事業を計画しており、「市民主体のまちづくり」の伝統を継承する、新しい時代の生涯学習・社会教育を体現すべく、幅広い事業を行っている。	3	管理運営目標に沿った事業・サービスを実施しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおり運営していると判断できる。	ヒアリング
・公平性・平等性の観点に特に重点を置き、子どもからシニアまですべての市民がまちづくり、市民活動、生涯学習、読書活動を謳歌できる管理運営を実現しているか。	3	枚方市の目指すまち姿「持続的に発展し、1人ひとりが輝くまち枚方」を実現するべく、「すべてのひとに開かれた暮らしを彩る学びと体験のインフラ」を目標に掲げ、公の施設としての公平性・平等性に重点をおき、駅前再開発の目玉として交流とぎわいを作る事業を実施し、子どもたちの体験格差をなくすべく、すべての市民があらゆる活動を楽しむような運営を実施している。 またイベントの受付についても「事前告知」「抽選予約」を基本とし、一部の市民や利用者へのみメリットが享受されることがないように回っている。	3	様々な市民や利用者に配慮した事業・サービスを実施し、公平性・平等性に重点を置いて管理運営をしているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおり運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
②施設運営に関する計画					
ア) 管理経費・管理体制の提案					
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った運営計画が提案されている（確認事項11）					
・スタッフ全員が執行する「ライフリースタッフハンドブック」などに基づく必須研修や管理運営に関する研修等の実施による法令遵守体制を構築しているか。	3	入社時に行う必須研修の他、スタッフの習熟レベル・段階ごとに研修を実施、様々なニーズにこたえられるようにスタッフ教育を行っている。また、法令遵守体制を維持するべく、年に1度は必ず個人情報に関する研修及びテストや監査を受けることで、全員の意識を統一させている。	3	研修の実績などにより法令順守体制が構築できているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおり運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（研修計画表）
・設置目的に沿った運営計画を策定し、計画に基づいて運営を行っているか。	3	設置目的を理解し、さらに管理運営目標である「すべての人に開かれた暮らしを彩る学びと体験のインフラ」を達成するべく事業計画を策定している。	3	施設の設置目的に沿った事業計画を策定し、その計画に沿った運営をしているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおり運営していると判断できる。	ヒアリング
業務繁忙時にも対応できるよう、施設に必要な従事者を適正に配置するとともに、利用者サービスの向上、効果的・効率的な管理運営の観点から実施体制等について提案されている。（確認事項12）					
・混雑状況に応じた弾力的な人員配置を行っているか。	3	センターと図書館の一体運営であることや、カウンターが同じ場所にあることから、どちらの利用者が来ても双方のスタッフが1次対応ができるように訓練や教育を行っている。具体的には、それぞれのカウンターでの対応はセンター・図書館共にどちらのカウンターに利用者が来られたとしても分け隔てなく対応し、双方のスタッフが利用者の要件（来館目的や内容）をしっかりと聞き取りのうえで、目的のカウンターへお繋ぎし、利用者に不便や不利益のないように回っている。 オープン時の繁忙期間や感染症などで一時的に勤務が出来ないスタッフが出た際には市内内外の図書館から応援勤務を実施し、利用者対応に不備がないように事前に対応している。今後も同様に大型イベント開催時や休日等の繁忙期には、必要時には厚めに、平時や閑散期にはスリムな体制になるように事前にシフトを調整するなど、無駄のない弾力的な人員配置を行っている。 9月の周年イベントでは、他館スタッフ22名と関西支社のエリマナージャー3名が応援に入り、現場の混雑緩和・案内などに努めた。	3	双方のスタッフが1次対応できるような体制を整えるなどセンター・図書館の相互の協力体制を整え、大型イベントなどの際には市内内外の図書館から応援勤務を実施するなど弾力的な人員配置を行っているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおり運営していると判断できる。	ヒアリング
・他館スタッフの人的バックアップ及び支社・本社による支援体制を構築しているか。	3	感染症などで一時的な欠員が出た際には、市内他館からのフォロー体制を実施し、運営に支障が出ないように努めている。また、本社・支社によるバックオフィス業務を分担することで、現場組織の管理業務を省力化し、より現場管理に注力できるよう運営を行っている。	3	欠員の際には市内他館からのフォローなど管理運営に支障が無く、支援体制を構築しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおり運営していると判断できる。	ヒアリング
・優れた管理運営を行うための、管理運営基本研修や、専門研修、センタースタッフ育成研修など人材育成研修を実施しているか。	3	大阪ガジネススクエアと協業し、センター・業務・生涯学習業務について毎月1回程度の定例的な会議の場を持ち、実務面での相談対応やフォローを受けることで、さらなる人材育成や教育の一助としている。（別紙参照） 今後も引き続き大阪ガジネススクエアとの協力体制を維持・構築することで、管理運営への知識、認識をよりアップデートさせていくとともに、自分たちでもQAシートの作成・配布による業務知識の再確認やアップデートを行い、今後も「館内でのロールプレイング研修」を行なう予定としており、これらを通じて接客力アップ、さらなる能力向上を定期的・計画的に回し、それ以外でも専門研修やビジネスマナーに特化した内容の研修等、社会教育施設を運営するうえで必要な事項や情報を共有するための研修等を適宜受講することで、スタッフ全員が優れたサービスを提供できるように研鑽をしている。	3	枚方市の生涯学習市民センター4館の運営実績がある大阪ガジネススクエア株式会社との協力のもとスタッフ研修を行うなど、施設の運営に必要必要な人材育成研修をしているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおり運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（研修計画表）
事務スペースが1か所に集約されていることを踏まえ、業務を実施するための従事者の兼任など、有効な業務実施体制や人員配置及びスペースの有効活用等に関して提案されている。（確認事項13）					
・図書館の専門的知識を要しない範囲の業務における、運営スタッフの生涯学習業務と図書館業務の兼任。また、サービス向上の観点から「地域連携・広報リーダー」として「広報担当」「地域連携担当」を配置すると、人員配置計画を策定し、実際の業務量等により柔軟に対応しているか。	3	当初提案した人員配置計画通りの体制を実施している。	3	適正なスタッフの配置に加え、「広報担当者」「地域連携担当者」を確保しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおり運営していると判断できる。	ヒアリング
・生涯学習や地域活動等の経験を有する者、司書資格保有者、図書館勤務経験者、地元在住者など、各要件を満たす人材を確保するとともに、採用に当たってはダイバーシティの観点から多様なバックグラウンドを持つ人材を公平に選考・採用しているか。	3	当初提案した人員配置計画通りの体制を実施するうえで、経験や資格保有者の数など、各要件を満たすことはもちろんのこと、年齢、性別、経歴等で多様なバックグラウンドを持ち、センターと図書館の運営に意欲的な人材の採用と確保を行っている。 加えて、提案した「広報担当者」「地域連携担当者」をそれぞれ配置し、さらなるサービス向上に努めている。「広報担当者」は館内の掲示物やイベントチラシ、ポスターなどの作成、またSNSで施設の様々な様子を発信することを館内外のプラットフォームイメージの維持管理を、「地域連携担当者」は新規事業の企画立案・関係者との調整などを中心に行っている。また、ダイバーシティの観点からも日本国籍に限らず多様な採用を実施し、多角的な運営ができるよう人員配置を実施している。	3	実際に外国語の人材を採用するなど多様なバックグラウンドを持つ人材の採用をしているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおり運営していると判断できる。単なる採用・配置にとどまらず、何を指す取組みなのかを明確に努められている。	ヒアリング

	・指定管理者が作成している業務改善に関するガイドラインを参考に、スペースの有効活用や業務方法について検証し、効率的・効果的な運営体制を構築しているか。	3	事務所および倉庫などのスペースはセンターと図書館で共有するなど、スペースを有効活用している。また、人員だけでなく備品類も共有することで、より効果的・効率的な運営を実施している。	3	スペースや備品を生産学習市民センターと図書館で共有することで、効果的・効率的な運営体制を実施しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
(イ) 利用者サービス向上提案（生涯学習交流センター）						
読書の利用率増加に向けた取組み及び活動する団体の登録数の増加に向けた取組みが具体的に提案されている。（確認事項14）						
	・読書研修・グループ本読み・読書会や読書空間の維持、館内の装飾といった日常的な取組みに加え、休館日を活用したセルフチェックの実施など、快適性の向上に向けた取組みを行っているか。	3	「誰もが利用できる1から10歳までが利用できる」を目指し、引き続き「より居心地の良い空間づくり」に取り組んでいる。 「寄贈品を扱う」のは設置後利用者からの評判もよく、ロビー内でも便利に使っている姿がよく見られる。 センターの利用促進策として、新規利用者の獲得と新施設の利用の促進を兼ねて、8月15日（金）にイベント「交流センター ルームツアー」を実施した。（参加者1人 定員30人） 各読者の様子や貸出品目の説明など交え、30分程度の動画を鑑賞した後、交流ロビーや屋上スペースなどの各所へリフトを案内した。参加者は今後センターでの読書利用を前向きにされている方だったようで、イベント中も終了後も、「より詳細を知りたい」と質問を熱心に行われるなど充実した内容となった。	3	館内装飾をすることで、明るく居心地の良い空間づくりを行うなど快適性の向上に向けた取組みを行っているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
	・掲示物の適切な管理、チラシ等の効果的な情報管理・発信、デジタルサイネージの効果的な活用、活動メニュー・募集ポスターの掲示・チラシの配布といった利便性の向上に向けた取組みを行っているか。	3	掲示板を「枚方市からのお知らせ」「活動団体の会員登録」「交流センターからのお知らせ」「図書館からのお知らせ」等と内容別に掲出する場所を分け、より効果的に発信ができるように掲示・管理している。 また、自主運営で用意したデジタルサイネージでは、各月開催のイベントを発信。館内のイベント情報の告知に活用することで、利用者へ積極的に情報を発信し、交流ロビーを使用する人、サークル活動にやってきました人、図書館利用者、すべての人へ広く情報発信が出来るよう取り組んでいる。	3	日々、他の施設や利用者から寄せられるチラシについては、整理の上、掲示・管理され、デジタルサイネージではイベント情報を発信するなど、利用者の利便性の向上に向けた取組みを行っているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング 現地確認 モニタリング資料（取組事例）
	・地域の関係団体、民間企業や地域外の人々、団体とも連携・協働した「共創」による事業の充実がなされているか。	4	昨年9月のグランドオープンイベントに引き続き、今年度も周年イベント「(k)not hirakata 2025 にはき」では、普段センターでサークル活動を行なうサークル団体以外からも、下記の市内の近隣施設や団体に協力いただき、多種多様な事業を13個実施した。 これらの連携・協働・共創により、施設の目的の一つでもある「街のにぎわいづくり」において、質・量ともに十分な効果を発揮することができた。 【地域市民連携】 大阪府立枚方なぎさ高校吹奏楽部「オープンングロビーコンサート」（参加84人 定員30人） グルクママスク「現役プロスラッシャー！ 大人のための自衛術講座」（参加16人 定員40人） 【地域団体連携】 テイク・ラボ「テイク・ラボの工作教室 輪ゴム銃を作ろう」（参加13人、キットのみ購入者7人 定員20人） 星ヶ丘洋裁学校「星ヶ丘洋裁学校の手作り小物ワークショップ」（参加19人 定員30人） 枚方演奏家クラブ「インギングコンサート」（参加56人 定員60人） モスカーピングクラブ「ソフカーピング」（参加8人 定員12人） 写真塾「お散歩カメラ」「カメラとスマホで『ゆる〜と写真を楽しもう』（参加7人 定員15人） センター活動団体(全7団体)「サークル活動発表会」（参加 157人（延べ） 定員70人） 【地域民間連携】 T-site「コトジゴ トークショー『わたしの7曲』（企画協力）（参加43人 定員60人） 後畑明彦照所 加味・リンゴジュースの販売 タムタムバウム 米粉バウムクーヘンの販売 alley 米粉シフォンケーキの販売 MEGUMI 米粉シフォンケーキの販売	4	「地域市民連携」「地域団体連携」「地域民間連携」を行い、多様な事業展開を行っている点や「地域連携担当」を中心に市内の事業者の新規開拓もを行い、新たな連携・協力が生まれることで、これまでの生涯学習市民センターでは行っていなかった事業を実施している点について、計画以上の良好な管理運営を行っていることと評価できる。今後も様々な関係団体と連携しながら、事業を充実させていくことを期待する。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
	・枚方モールに入居しているテナントや周辺施設との連携、周辺施設へのPRカードの設置といった立地を生かした広報戦略を行っているか。	3	周辺施設である「枚方ビルネ」「枚方T-SITE」とは、昨年9月のオープンイベント以降も引き続き連携して推薦図章の展示や、お互いのイベントチラシ・パンフの設置等での連携を実施している。 9/23実施の「AROUND HIRAKATA(オアム)」にて、図書館では「絵本広場」での絵本紹介や青空おはなし会を、センターでは1日2回の「ロビーコンサート」を実施することで、イベントを通じての枚方モール全体の集客や周辺地域へのにぎわい創出へ貢献した。 枚方モールに入居しているテナント「shuku56」には、昨年9月のグランドオープンイベント時にイベントパンフの設置をしていただくことで、引き続き広報活動「knot(e)s」やPRカード(ショップカード)の設置などを行うことで連携を継続している。 他にも「トントデミ」には、「子ども向け」「体を動かす」等、テナント事業と親和性の高いイベントを行なう際には、イベントの告知チラシを置いてもらうなどの形で告知に協力いただいている。	3	周辺施設と連携し、チラシ等の設置を行うとともに、入居する商業施設との協力に含めたイベントの開催等、立地を活かした取組みを行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
	・見学ツアーやバーチャル鑑賞案内、YouTubeによる活動動画の配信、SNSによる情報発信、活動のライブ配信といった、鑑賞や活動の様子を気軽に鑑賞することができる機会を提供を行っているか。	3	HPCには開館後に360度バーチャル鑑賞案内を掲載し、新施設の状態をいち早く市民の皆さまと利用者にお知らせし利便性の向上に貢献したほか、9月のイベントの様子を記録映像として「ダイジストムビー」をYouTubeの登録チャンネルにアップした。SNS(Instagram)では、日々の活動やイベントの様子をお知らせしている。 その他にも、今年8月には昨年引き続き「交流センター・ルームツアー」を実施。 なお、Instagramの登録者数は、開設後6か月でフォロー1,000人を超えた。（2025年10月4日現在のフォロー数は1,072人） 今年9月に行った開館1周年の記念イベントである「(k)not hirakata2025」は、広報スタッフが各々の記録動画を撮影しており、現在編集作業中である。（今年度中に記録動画をYouTubeチャンネルにアップする予定）	3	バーチャル鑑賞案内やInstagramを用いて日々の施設の様子やイベントの様態を細かに発信するなど、鑑賞や活動の様子を気軽に鑑賞することができる機会を提供しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング ホームページ モニタリング資料 YouTube 取組事例
	・登録団体の協力による活動体験会やオンラインでのイベントお試し枠の提供、活動団体の立ち上げサポート、登録団体によるトークセッションといった体験する機会の提供や体験者・利用者・活動団体の声の発信を行っているか。	3	実際に活動状況やサークルの雰囲気を見ていただけたら嬉しい「サークル活動見学会」を6月16日～29日の約2週間を実施。（参加サークル13団体、参加者 9人） 見学会OKのサークルには「見学OK」のPOPを入口に掲げていただくことで、より自由な交流が図られるように工夫した。 実際に見学した方の中から「来年度の活動参加希望者が現れた」と、参加サークルの方から喜びの声をいただいた。 広報活動「knot(e)s」2025年1月1号以降、引き続き紙面内のコーナー「学び百景」にて活動団体の紹介を実施。他団体からも「自サークルの紹介も載せて欲しい」という声があるなどその反響は大きい。（これまで44団体を掲載、今後も継続予定）	3	センターより「knot (e)s」紙面内のコーナー「学び百景」に掲載したセンター活動団体の紹介では、実際の活動団体の声の発信を行っているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
ロビーを含む生涯学習交流センター全体の利用者数の増加に向けた取組みが具体的に提案されている。（確認事項15）						
	・混雑状況の可視化・発信や、ICT機器の操作に不慣れた利用者に対するデジタル・コンシェルジュによるサポートを通じた気軽に来館・利用できる環境づくりを行っているか。	3	HPCには、混雑可視化のアイコンを設置し、朝・昼・夕方方の1日3回程度更新している。 また、センターに設置している施設予約システムのバロンの操作については、全スタッフが「デジタル・コンシェルジュ」として、バロン画面の操作方法等でお困りの方がいらっしゃる場合は丁寧に確認し、操作方法や使い方の説明などを行っている。	3	混雑状況やアイコン可視化、施設予約システムの操作については、全職員が案内できるような体制を整えるなど気軽に来館・利用できる環境づくりを行っているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング ホームページ モニタリング資料（取組事例）
	・ロビーを有効活用し、子ども向けのロビー・ワークショップ、ロビーコンサート、ロビー健康体験イベント、展示スペースでの市民活動団体によるチャリティーオークションや市民参加型イベントの実施を行っているか。	4	子ども向けロビー・ワークは今年度4回、全年齢向けのロビーでの工作系イベント1回、ロビーコンサート 2回の計7回を実施した。 今年度は12月実施予定の「クリスマスロビーコンサート」に加え、合計8回実施予定。 予約必須のイベント以外にも、「交流センターに来れば、何かやっている」「何か面白いことに会える」という期待感や来館の動機づけ（来館者アップのためのしぐけづくり）を行っている。 ・ロビー・工作（子ども向け） 交流ロビーで5時から立ち寄れる気軽な子ども向け工作イベントは、「敷居が低くなく、参加しやすい」「子どもたちも満足した」との声をいただいている。 「交流センターへ遊び（おみやげ・おみやげ）」5月4日(日)実施（参加者 大人31人、子ども33人 定員40人） 「おみやげ・おみやげ」6月14日(土)実施（参加者 大人17人、子ども16人 定員35人） 「夏だ！ うちわに絵をかこう」7月6日(日)実施（参加者 大人12人、子ども15人 定員30人） 「風船をつつみよう」8月17日(日)実施（参加者 親子27組 定員20組） ・ロビー・イベント（創作系・全年齢向け） 「トトロの木版・金版でポストカード・ブックカバーを作ろう」6月28日(土)（参加者 30人 定員40人） 年齢不問で参加できる創作系イベントを広く交流ロビーで開催。 京都府古賀出版社「法蔵館」より講師を招き、江戸・明治・大正期から伝わる「木版」「金版」を使って自由にスタンプし、オリジナルのポストカードやブックカバーを作ることができる企画を、近隣のコンペパークで同日開催の出版系イベント「ブックバザー」（図書館でもブース出展あり）に合わせて同日に開催することで、駅前周辺「にぎわい創出」に貢献した。 大人も子ども楽しめる内容に、家族で参加し、じゅっりとお気に入りの版を探したり、押す場所を思案するなどそれぞれに楽しむ参加者の姿はもちろんのこと、法蔵館のスタッフが「持ちこんだ刷り本」（江戸時代の印刷技術で作成した本）や「版木」の解説を随分見学者にも行うなど、ロビー開催ということで、イベントに参加した方だけでなく大まかには通ったばかりのセンター利用者・図書館の利用者にも、誰もが気軽に「学び」「発見」「参加イベントとすることができた。 ・ロビー・コンサート 「ようこそロビーコンサート」8月2日(土)（神野朋子（枚方演奏家クラブ所属）出演、参加者 53人・全2回 定員60人）、 「ロビーコンサート EnsembleQoo木管五重奏9月23日(火・祝)実施（EnsembleQoo出演、参加者 197人・全2回 定員60人） 「良質な音楽を、気軽に楽しんでもらいたい」とのことで、若手演奏家から、実績のあるベテラン演奏家まで、内容入道共に幅広く選定して実施。 参加者からこんな風に気軽に上質な音楽が聴けるなんて嬉しいし大変喜ばれていた。 今後も引き続き類似の企画を実施することで、交流ロビーの有効活用と施設認知度を継続していきたい。	4	ロビーコンサートやロビー・ワークなど、図書館など別の目的で施設を訪れた市民も気軽に参加できるイベントが定期的に実施されており、ロビーの有効活用のみならず、生涯学習交流センターの賑わいづくりの一助となっている点で計画以上の良好な管理運営を行っていることと評価できる。引き続きロビーを活用したイベントを実施していただき、来館の動機づけを行っていただきたい。	ヒアリング 現地確認 モニタリング資料（取組事例）
利用者にとって魅力的な物品販売や新たな備品の貸し出しなど事務所サービスを具体的に提案されているか。（確認事項16）						
生涯学習交流センターの魅力アップのための備品等の新規設置等について、具体的なアイデアが提案されている。（確認事項17）						
	・魅力向上・利便性の向上につながる、ボードゲーム、乳幼児用ハイチェア・授乳ケープなど事業計画に記載する備品の貸与や設置を行っているか。	3	子ども向けボードゲーム19点、移動式読点2点、画面台5点を購入。今年度は利用者からの要望で移動式読点をおもちゃ1台増やし計3台として「貸出中で使えない」ということのないように取付けた。 これらの施策により、読書利用者に対しセンターの魅力アップや利便性向上に貢献している。 今後事業計画に記載している購入予定の物品（授乳ケープ、乳幼児用ハイチェア等）やその他の物品についても、利用者の要望や状況に応じて都度検討し、タイムリーに対応できるよう、利用者との綿密なコミュニケーションを徹底していきたい。	3	事業計画に記載の備品のほか、利用者からの要望に基づき備品購入・貸与を行っているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例） 現地確認
(ロ) 利用者サービス向上提案（図書館）						
図書館の新規登録者を増やすための取組みが提案されている。（確認事項18）						

	・スマート登録の周知強化、交流ロビー利用者登録会、商業施設やイベントとの連携による利用者登録会の実施、イベント申し込みと利用者登録の連動といった新規登録者を増やす仕掛けを行っている。	3	・スマート登録やライン連携のQRコードをカウンターに常設し案内内を行えるよう準備している。 ・図書館のイベントだけでなく、センターイベントのポスターなどと図書館資料をならべ、イベント参加者にも図書館資料貸出誘導している。 ・外部イベント参加時に、図書館をご存じない方への図書館の場所の案内や、二次元コードを用意して電子図書館やスマート登録への誘導を行っている。	3	スマート登録やライン連携の周知、センターイベントとの連携などの取り組みは本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。引き続き、入出の多い商業施設内やイベントエリアで開催されるイベントと連携し、新規利用者登録者を増やす取り組みを積極的に展開され、実際に新規登録につなげるとともに実績の把握に努められることを期待する。	ヒアリング 要現地確認 モニタリング資料（取組事例）
図書館の来館者を増やし、貸出冊数を増やすための取組みが提案されている。（確認事項19）						
	・来館者が快適に利用できるよう、わかりやすい言葉遣い、公平性・平等性の認識と理解を高める研修の実施、書架整理の徹底といった日常的な取り組みに加え、休館日を活用したセルフチェックなど快適性の向上を図る取り組みを行っている。	3	・接遇研修を実施する中で「書架」「本棚」、「相互貸借」→「他の自治体から借りた本」など、利用者になじみのない言葉の言い換えを徹底。また、棚担当を決め、書架の整備に努めている。休館日には書架の見直しなど快適な図書館づくりに取り組んだ。	3	利用者にわかりやすい表現を用いようとする取り組みに加え、利用者の移動の動線にあるオブジェの移設、コンセントカバー、返却ボストの角の手当てなど安全面に配慮されていることから本市要求事項を満たし事業計画どおりに運営していると判断できる。今後も快適かつ安全に図書館を利用できる環境整備に向けた取り組みを期待する。	ヒアリング モニタリング資料（研修計画表）
	・利用者目線に立った、利用しやすい安全な棚づくり、利用者ニーズが高いパソコン・インターネット関係の資料をまとめた専用コーナーの設置、わかりやすい見出しの掲示、子ども用ステップの設置といった利便性の向上を図る取り組みを行っている。	3	・パソコン・インターネット関連資料を集めたコーナーの設置、見出しのブラッシュアップを実施している。 ・利用しやすい棚づくりのため、一般書のほかすべての書架に面陳棚を設置。 ・令和7年、子ども用ステップを自動貸出機・返却カウンター前に設置。 ・令和7年、小説・エッセー・文庫・YA・漫画など150以上の書籍を、資料が興味に入り込まないラフデスクトップを設置。 ・7月おはなしスペース前に、このスペースの使い方の案内看板を設置。お子様連れの親御様が利用しやすい環境づくりに取り組んだ。	3	書籍の表紙を見せる面陳棚の設置は利用者に好評である。また、書架見出しをブラッシュアップして利便性の向上を図るなどの取り組みやデスクトップには150冊を設置済みで、棚の乱れが軽減され、利便性の向上に役立っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。今後も、児童書の面陳など、さらに利用者目線にたつ魅了のある棚づくりに取り組まれるよう期待する。	ヒアリング 要現地確認 モニタリング資料（取組事例）
	・施設設計コンセプトを体現する常設展示、交流ロビー・特設展示、季節を感じられる特設展示といったさまざまな特設展示による充実性の向上を図る取り組みを行っている。	3	・ポタカルフォルでは、「交流」をテーマに図書館員でなく牧方市内の様々な職業の方のおすすめ本の展示を継続。また、直近のイベントに関する資料や、終了したイベントに紹介した資料展示なども実施している。これらに加え、市民からの協力を募集。図書館員がおすすめの資料とともに協omiに回答する「教えて！ライブラリアン」という企画を新たに立ち上げ運用している。市民からのお協omiは、Instagramや館内二次元コードから募集し、図書館の発信だけでなく市民と図書館の交流を図っている（現在2件）。	3	ポタカルフォルを活用した展示は市内事業者と連携を図るなど、図書館員以外のおすすめ本の展示も含め、鮮度を保ちながら様々な働きかけを実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。オープンスペースでのイベントは実施に当たり配慮を要する面もあるが、引き続きの取り組みを期待する。	ヒアリング 要現地確認 モニタリング資料（取組事例）
	・定期読書会の開催（年6回以上実施）、一箱本オーナーの募集（年6回以上実施）、一冊一冊本棚の設置（常設）、GiftBook本の交換会の開催（年2回以上実施）、ピピオバトルの開催（R8年度以降年1回以上実施）といった図書館に行きたくない「本を読みたくなる」仕掛けを行っている。	3	・定期読書会開催 4月20日(日)実施（参加者 大人4人 定員6人）。 6月15日(日)実施（参加者 大人4人 定員6人）。 8月17日(日)実施（参加者 0人 定員6人）。 「少人数ではなすが交わって楽しかった」といったと好評であった。8月17日は、読書会を児童にも体験してもらえ、子ども限定で募集をしたが、集客しなかった。結果が伴わなかったものの、既存のイベントに対する創意工夫を続けたい。 ・一箱本オーナーの募集 センターイベントにて作成した箱を活用し、センター職員によるおすすめ本の本を設置中。今年度中には、募集・選定・展示といったオペレーションを確立し、市民参加を募集する。 ・一冊一冊本棚の設置 「おまのいまだま本として」に設置。返却された本（誰かが一度借りていた本という安心感がある）を書架に戻す前にラックラックにて展示。普段手に取らないかもしれない本とのお出合いを演出しています。かなりの頻度で立ちまてご覧いただいている。 ・GiftBook本の交換会 7月13日（日）実施（参加者 大人4人、定員10人）。本を交換するといハールドのある中、オリジナルブックカバーも好評いただき参加された方の満足度は高くなっている。読書会もそだが、「市民同士の交流」は従来図書館の不得手とするところだったとすると、参加者で交流を生むことができるこのイベントは継続していきたい。 ・ピピオバトルの実施 9月6日(日)実施（参加者 発表者：3人 定員10人・観覧者：8人）。「ピピオバトル」をご存じなく、興味本位で参加された方があり、利用者の新たな引出しを開けるきっかけができたのではとの発見があった。ただ、参加者が想定していたより少なく、今後の集客プランを急入りに検討していく必要がある。	3	事業計画書で令和6年11月に実施とされていた一箱本オーナーの募集については、本格実施に向けたシミュレーション作成を確認した。自由に自分の好きな本を選び本棚を作ることで図書館に親しみを持つ契機となる利用者参加型の興味深い取組であり、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できるので、その趣旨を踏まえた実施に努められたい。	ヒアリング 要現地確認
図書館の魅力アップのための備品等の新規設置等について、具体的なアイデアが提案されている。（確認事項20）						
	・事業計画書で提案されている（荷入れボックス、読書灯、読書用ハンモック、アウトドアイベント、ポップアップテント、レジャーシートなど）図書館の魅力及び利便性の向上につながる備品については、利用者のニーズに沿って選定・導入し活用している。	3	・令和7年6月から荷物用カ、館内でご利用いただけるカ（カッシュバック）を「ご自由に利用ください」との表示とともに設置。「使いやすくて便利」というお声をいただいている。その他の物品についても順次導入のため検討中。	3	導入を予定している物品については既に準備済みあるいは活用を検討中であることを確認した。また、今後も当初の提案備品のほかにも、図書館の魅力及び利便性の向上につながる備品についても適正積極的に設置されたい。	ヒアリング 要現地確認 現地確認
利用者の課題解決を支援するレファレンスサービス等について具体的なアイデアが提案されている。（確認事項21）						
	・市民のQOL向上の実現に向けた、レファレンスサービスの認知度と利用率の向上、相談者と良好な相コミュニケーションへの取組、また利用者の適切な図書館利用につながる仕組みづくりを行っている。	3	・図書館活用講座や子ども向け図書館活用講座、図書館ツアー実施時等に、レファレンスの仕組みなどの紹介を行い、調べものがあるときはいづれでも図書館のカウンターを訪ねてほしいといことを案内している。	3	フロアワークは図書館職員の業務の中でも重要なものである。図書館利用の促進につながるもので、図書館職員に声をかけやすい環境づくりに努めていることは、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。引き続きその充実に努められたい。また、利用促進につながるよう、SNSやチラシをはじめとした効果的なPRも実施されることを期待する。	ヒアリング
	・レファレンス事例集の書籍と公開、担当スタッフによる読書会の実施のほか、暮らしの課題解決支援イベント（R7年度3回、R8年度以降年2回以上実施）や情報検索・リサーチ講座（R8年度実施、以降年1回以上実施）といったレファレンスサービス向上につながる取り組みを行っている。	3	・昨年作成したレファレンスファイルは9月末時点で20件、いつでもスタッフ全員が見られるようにしており、事例を策に共有している。 ・暮らしの課題解決としては、5月25日（日）「エンディングノート書き方講座」（大人27人 定員40人）、9月21日（日）「快眠セミナー」（大人33人 定員40人）を実施。はじめて来館された方もあり、図書館の利便性をアピールしている。	3	スタッフへの研修、レファレンス事例の書籍が行われていることと確認。本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。今後もより実践的な活用を見据えて継続されたい。また、スタッフ間の知識・情報の共有化についても、より留意して活動されることを期待する。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例） モニタリング資料（研修計画表）
	・レファレンスサービス推進のための自治体や各団体とのコミュニティパートナーシップの構築や、スタッフの関係団体に関する知識とレファレンスインダビュのスキル向上、ガイドラインの整備、情報提供の充実、ニーズ分析・サービス評価を行い、サービスの充実に努めている。	3	・センターでの「くずし字講座」実施のため健康資料館学芸員の方と打ち合わせなど実施。 ・さだ図書館で事業実施実績のある淀川河川事務所や、商工会議所など関係団体との関係構築に努める。 ・さまざまなレファレンスに対応できるよう、スタッフ向けのガイドラインを策定。随時紹介先の更新・充実やスキルアップを目指す。	3	レファレンスサービスの推進や関係団体との関係構築などに努めていることを確認し、本市要求事項を満たし事業計画どおりに運営していると判断できる。今後も、より効果的な取り組みとして結実されることを期待する。サービスの基礎を整備する観点から、実際の取り組みのレポート、ガイドラインの整備、ニーズの分析も実施されたい。	ヒアリング
(エ) 事業集（生涯学習交流センター）						
生涯学習交流センターの認知度の向上・利用者数の増加につながるような魅力的な自主事業が具体的に提案されている（確認事項22）						
	・「底質事業の実施（令和7年度以降年6回以上実施）。	3	「底質事業として、大集会室を使った自主事業を今年度中に6回実施予定。 大集会室を使っ「音楽コンサート」5回、「リブアリー」映画の上映鑑賞会1回、それぞれ実施予定。 「気軽にジャズピアノ」4月12日(土)実施（参加者64人 定員70人） ボビュミュージックからジャズまで、ジャンルを問わず幅広い年代が楽しめるコンサートを実施。 これまでの音楽系コンサートの中では、若年層が多く参加し、「新規利用者の開拓」という目的を達することができた。 今後は、昨年も人気のピアノ・ボカルのデュオコンサートや、子ども連れでも気兼ねなく参加できるクラシック中心のコンサート、楽器を触れるワークショップ付の音楽イベント等の実施を予定している。	3	計画通りの事業本数を実施していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。開催頻度に偏りからするため、年間計画策定の段階で調整いただきたい。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
	・初心者向け講座「ワークショップの実施（令和7年度以降年6回以上実施）。	4	「初心者向け講座「ワークショップとして今年度は計9回を実施予定。 「趣味好きなら、集まれ」4月25日(金)実施（参加者 43人 定員50人） 「ロードバイクを知ろう」1月25日(水)実施（参加者 9人 定員50人） 「夏休み子どもワークショップ 自分で本を作ってみよう」1月26日(土)実施（参加者 11組、全2回 定員20組） 「盆栽・ジオラマで作る！手のひらワークショップ」7月27日(日)実施（参加者 28人、全2回 定員 40人） 「子ども向けワークショップ」8月22日(金)実施（参加者 16人、全2回 定員 20人） 平日・夜間のイベントは主に大人（仕事帰りのビジネスパーソン）に向けて、新たな趣味や娯楽の発見につながる講座を、7月・8月の夏休み期間は、主に子ども向けに「初めてセンターを利用する」にのふさわしいイベントを実施。 有料イベントは特に「充分にそれだけの価値があるもの」、「子ども向けであっても、大人の興味・鑑賞にも耐えるもの」、「親子で参加してもどちらも楽しいもの」を心掛け、企画を設定。どのイベントも「子どもはもちろん、親も夢中になった」「この金額でこんなレベルの高いものが作れるなんて（体験できるなんて）満足できた等」、どちらのイベントも好評の声をいただいた。	4	計画以上の回数を実施しており、また、内容についても、幅広い層を対象としたリバーシやエーション豊かな企画となっている。参加人数は振るわなかったが、従来の生涯学習市民センターではなかったようは「ロードバイクを知ろう」といった、室内でアウトドアを疑似体験できるものなど工夫が見られた。以上より、計画以上の評価ができるものと判断する。改善点があれば反映いただき、引き続き広い層に働きかける事業展開に期待する。	ヒアリング 取組事例 モニタリング資料（自主事業）

	・親子向け講座の実施（令和7年度以降年4回以上実施）。	3	親子向け事業として、今年度は計5回実施予定。 「子育てひろ交流会」4月27日(日)実施（参加者 6人 定員6人） 「笑顔が増える！親子のワクワクお片付け術」7月11日(金)実施（参加者6人、うち保育利用 1人 定員15人） 「子育てひろ交流会」7月20日(日)実施（参加者5人 定員10人） 「子育てひろ交流会」は、孤立しがちな育児中・子育ての悩みを持つ30代前後の男性をターゲットに「交流」をメインテーマに実施。お子さん連れでの参加を推奨しているため、普段の子どものかかわりや悩みなどが自然と出てやすく、参加者からのニーズも高い。次回は12月に実施予定。 平日午前中に実施した「お片付け講座」は、施設初の「保育付き」イベントとして実施。子連れで参加するのを躊躇していたが、「保育あり」聞いたので申し込めた」と参加者（保育利用者）から、喜びの声をいただいた。	3	親子向け講座を計画通り実施していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。また子どもセンターと立地から、誘導について意識した取組みを検討いただきたい。	ヒアリング 取組事例
	・大型イベントと連動したSNS・動画配信サービス活用事業の実施（令和7年度以降年2回以上実施）。	3	大型イベントと連動したSNS・動画配信サービス活用事業として、今年度は2回実施予定。 1つは周年祭の様子を映した動画の作成、公開。 もう1つは「交流センターのいなかんぱ」と題したセンターの日常を切り取り写真展の開催。 施設のInstagramアカウントでは、大型イベントの実内告知や実施報告以外にも、ストーリー機能を活用し双方向でのコミュニケーションができるように「教えてライブリアン」コーナーを設置。図書館とも連携して、若い世代へSNSを通じての施設の認知度アップを目指している。	3	大型イベントと連動したSNS・動画配信サービス活用事業を計画通り推進しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング 取組事例
屋上広場や屋上スペースの活用、オープニング事業やセンターまわりの自主事業において、生涯学習交流センターの活性化・賑わいづくりにつながるような提案が具体的にされている（確認事項23）						
	・屋上広場活用事業の実施（令和7年度以降年1回以上実施）。	3	屋上広場活用事業は今年度は1回実施予定。 枚方市デジタル管理会社の京阪カインドと使用について協議をし、今年11月に1回目の事業を実施予定（ショット動画作成講座の動画作成パート部分を屋上広場を「会場」に行う）。	3	屋上広場活用事業の実施を予定しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。下期に計画どおりに実施していただきたい。	ヒアリング
	・屋上スペース活用事業の実施（令和7年度以降年1回以上実施）。	3	屋上スペース活用事業として、今年度は5回実施予定。 「お外で水遊び」5月4日(日)実施（参加者 大人33人・子ども36人、全6回 定員30人） 知育玩具メーカー「ホーネーランド」の水遊びキット「アクアプレイ」を使って、30分ごとの入替制で自由な水遊び（外遊び）を楽しんでいた。 交流センター「屋上スペース」といふ、解放的でありながら、きちんと区切られたスペースで安全に配慮しながら水遊びができる機会に、「自分たちではなかなかできない経験」と参加した保護者からは大変感謝された。 また参加した子どもたちも年齢層に幅はあっても、自然とそれぞれが盛り合い、みなで協力して「遊びを生み出す」姿に、「知育（遊びを通して学びを育む）」をテーマにした玩具をつかうことで幅広い学びの機会を提供できた。	3	屋上スペース活用事業を計画通り実施しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング 取組事例 モニタリング資料（自主事業）
	・センターまわりについて、センターの賑わいづくりや新たな利用者の増加につながるようなプログラムの実施（令和7年度1回、令和8年度以降年1回実施）。	4	9月27日(土)28日(日)の2日間、「(k)not hirakata2025 にはき」を開催。 昨年の場所で作られた「新しいながり」や「学びの芽」を、今年度のテーマ「にはき」として表現。 1日目はセンターで活動する団体やサークルの活動発表の場として、2日目はもっと枚方を知り、枚方が好きになるイベントを、というコンセプトのもとで全部で13個のイベントと、市内の特徴ある飲食店4店舗による飲食物の販売、図書館の主催するイベント2種（おはなし会、クイズラリー）を行った。 2日間の来館者数は合計で約4,000人。1日当たり2,000人程度の来場があり、このうちアンケートでも「今回初めて施設を利用した」と回答する方がおられるなど、多様な多様な企画を実施することで今回も新たな利用者の増加につながるべきであった。 昨年度も好評だった「ふれあい移動水族館」は、2日間で大人・子ども合わせて375人が参加（定員は2日間で約600人）。昨年度よりも会場スペースを広げ、滞在時間も長（設定したことで、「生きた学びの体験」を存分に味わってもらうことができた。大変満足度が高かった。また、今回初めて会場外に「デモ用の水槽」（熱帯魚が数種類と、水槽の背面にデジタルサイネージで「イメージ動画」が再生されるもの）を受けブースの隣に設置したこと、館内の来場者の誘引をするために、イベント会場内での展示内容の多彩さ・レベルの高さを会場に入らなくても一目見てわかってもらうことができ、こちらも好評であった。 初日のメインイベントに当たる「サークル活動発表会」は、フランドロやマジック、合唱から楽器演奏まで幅広い7つの団体が参加。終了後には「他のサークルの活動内容が知りたかった。」「あの団体に活動に興味があるので、次の活動日に見学してみようと思う」といった感想を頂戴するなど、参加者、観覧者ともに「新たな趣味・興味」を発見する場、学びをさらに広げる場としても作用していたようである。観覧者は合計157人（のべ人数）（定員70人）。 その他にも「ダンス発表会」以外のサークル活動にも光を当てたため、「ソープカンパニー」（参加8人 定員12人）と「スマホ・カメラを使った写真講座」（参加7人 定員15人）を、それぞれセンターの活動団体に依頼して、ワークショップ・講義の形で開催。どちらも参加者が「こんなことができるんだ」と新しい発見とともに、その活動内容のレベルの高さを感じ、喜んでいただけたようである。 2日目は、枚方市出身のアパレル系「グルンクス」氏による、「自撮り講座」に、「スチヤルおはなし会」を開催。普段から人前でお話をされる機会が多いグルンクス氏の「お話し術と教養は、その場にいる人すべてを巻き込み素晴らしい体験が生まれる」と、その他、音聲関係に見られるアーティストと近距離で接することができることと大変好評だった「コトリゴウキョウ」の夜の時間帯に開催し、大人向けのしっとりした和と洋の音楽の融合「イブニングコンサート」はどちらも大集客会場のグランディアモール活用する形で行った。グランディアはその音色とともに、枚方の各所を意匠した切り絵アパングもとても評判が良かった。また、昨年度に引き続き行ったタラウ洋裁学校の小物づくりワークショップも、昨年度より内容をバージョンアップして実施。参加者からも「講師の先生の丁寧なフォローのおかげで、かわいく小物が出来たとコメントをもらうなど、今後とも、枚方市内の魅力を発信・再発信するとともに、「ターミナル駅直結」という立地を生かした他都市からの流入」を呼び込むことで、さらなる地域全体の発展を目指していきたい。	3	センターの賑わいづくりや新たな利用者の増加につながるセンターまわりを開催しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。利用団体の参加や成果発表になる機会、利用者のモチベーションの向上につながるものであり、一方で外部出演者によるイベントや人気の移動水族館、他のイベントにも関わっているショップの飲食物の物販など、多彩な内容でプログラムが組まれ、新たな来館者の呼び込みにもつながっている。今後とも、多くの人が楽しめるような工夫を凝らしていただきたい。	ヒアリング 現地確認 取組事例 モニタリング資料（自主事業）
ビジネスパーソンとの獲得など、生涯学習交流センターの夜間の利用者数の増加に向けた事業等が具体的に提案されている（確認事項24）						
	・平日夜間の時間帯を中心とした、市民がビジネスで必要なスキルや知識等を学ぶためのビジネスパーソン向け講座の実施（令和7年度以降は年4回以上の実施）	3	ビジネスパーソン向けの講座は今年度4回実施予定。 「利き酒セミナー 北陸のお酒を楽しく夜」8月30日(土)実施（参加者 15人 定員15人） 「利き酒セミナー 交野のお酒を楽しむ夜」9月26日(金)実施（参加者 28人 定員45人） 「北陸のお酒」では今も地域で被災し苦しみが立ち上るうとする北陸の酒蔵の復興と力強さを、「交野のお酒」では江戸時代から続く伝統的な酒造り屋ならではの「酒造り」について詳しく解説・説明を交えて、日本のモノづくりと食文化の奥深さを、それぞれの講師が遊び心におすめする日本酒とそれらによく合うおつまみを組み合わせる形で、「次もまたぜひ参加したい、いつやるのか」と継続しての開催を望む声も多く、両回とも参加者からも「満足」のコメントをいただいた。	3	計画通りの事業本数を実施しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。対象地域を替え、様々な地域の酒に関する話と利き酒が楽しめる講座は、普段来館しない人の来館契機となっている。今後とも同様の取組みを続けていくとともに、40代、50代の人々がターゲットになる企画も併せて検討していただきたい。	ヒアリング 取組事例 モニタリング資料（自主事業）
立地条件等を踏まえた新しい事業が積極的に提案されている（確認事項25）						
	・市民と共に「まちを育て価値を高める」取組みの実施（年1回以上）。	3	地域に価値を生むイベントや取組みとして、今年度は3つの事業を実施予定。 「安楽町アートフェスティバル」7月19日(土)実施(参加者 43人 定員60人) 「イラストレーターやアパレルデザイナー等、多方面で活躍される芸術家氏をお招きし、様々な角度からトークを展開。どの方面からどんなジャンルや話題の展開に90分間があいたという間で、参加者は「一緒にその軽妙で会場の深いトークに引き込まれていく様子だった。」「こんなすごい人が枚方に！」「あんなすごい人を間近で見られるなんて」と、こうしたイベントを入口（きっかけ）に、施設を初めて利用する新しい利用者や「関係人口」を呼び込むきっかけを作っていくと同時に、会場のキャパ（そのものが決して大きなことから成立する「距離感の近さ」も交流センターでイベントをする魅力の一つのようである。その点を評価した）にイベントは、参加者からの高評価だけでなく、出演者からも「一人一人の参加者の顔が見えてやりやすかった」「ぜひまたやりたい」と言っていた。 その他、10月以降にも、比較的前ルビの発生原因になり「い米粉」で作るスイーツにこだわった。健康と美味しさを追及する日本人の菓子店(3店舗)を紹介する企画「アレルギーを学ぼう」や「やさしい米粉のお菓子ができるまで」や、「天の川伝説」ゆかりのまち・枚方市で、楽しみながら星空を通じて学ぶ企画「移動式プラネタリウム」等、市民とともにまちを育て、人を育て、そこで頑張る人たちがただ応援するだけでなく様々な形で紹介「つながり」の取組みを通じて、この街をさらに「価値ある場所」へと高めるべく、今後も様々な取組みを行っていくことで市民の期待に応えていきたい。	3	計画通りの事業本数を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。事業計画に「子どもまちづくりワークショップ」も検討していただきたい。	ヒアリング 取組事例 モニタリング資料（自主事業）
オ) 事業提案（図書館）						
枚方市子ども読書活動推進計画の趣旨に沿った子ども向けの事業が提案されている。（確認事項26）						
	・乳幼児とその保護者を対象としたサービスとして、「フレマ・プレバ・ひろく交流会」（令和7年度実施、令和8年度以降年2回以上実施）、「親子読書会」（月1回実施）、「リトミック・絵本の読み聞かせ会」（令和8年度実施、令和8年度以降年2回以上実施）、「赤ちゃん向けおはなし会」（週1～2回実施）の「小さい子向けおはなし会」、4歳～5歳向けの「大きい子向けおはなし会」（月2回以上実施）、「いきなりおはなし会」（随時実施）、「乳幼児向け特別おはなし会」（令和7年度以降年4回以上実施）、「幼児向けとよかん宝さがしゲーム」（令和7年度実施、令和8年度以降年1回以上実施）、「ぬいぐるみのおとり会」（令和7年度以降年2回以上実施）を行っているか。	3	「フレマ・プレバ・ひろく交流会」 「新米ババママ交流会」として5月18日(日)に実施（参加者 子ども2人・大人4人）。図書館から絵本の紹介や、保育環境コーディネーターによるコミュニケーションや育児で困ったとき解決法などのおはなしのほか参加者同士の交流も促す会とした。 「親子読書会」 毎月実施しており、計6回で大人49人、子ども47人の参加をいただいた。テーマは（4月：じよぎにできるかな、5月：絵本であふ、センス・オブ・ワンダー、6月：知りたくなかったこと、おとこの絵本、7月：好きな色はなあに、8月：かた、9月：もっと知りたいたくさん）とした。テーマを設定するようになり、参加者が増えているため今後継続したい。 「リトミックと絵本の読み聞かせ」 5月29日(木)実施（子ども6名・大人6名）、10組の募集に対し69組もの応募があり、需要の高さを感じている。 「赤ちゃん向けおはなし会」 毎週金曜日計26回実施、大人170人、子ども143人に参加いただいた。 「小さい子向けおはなし会」 毎月1回計6回実施、大人63人、子ども66人に参加いただいた。 「大きい子向けおはなし会」 毎月1回計6回実施、大人38人、子ども36人に参加いただいた。 「いきなりおはなし会」 8月17日(日)実施、6人のお子様に参加いただいた。 「乳幼児向け特別おはなし会」 「季節のおはなし会」として実施。 4月27日(日)「さくらまはのおはなし会」実施（大人5人、子ども8人 定員なし）。 7月27日(日)「これ、おはなしかい」実施（全2回参加者 大人11人、子ども12人 定員各回15人）。 通常のおはなし会に加え、参加者楽しんで絵本に触れていただけるような工学的要素などを盛り込んでいる。 「幼児向けとよかん宝さがしゲーム」 6月21日(土)実施（子ども51人）。図書館内を回っていただく仕組みに、保護者も含めて図書館内を隅までくまなく見ていただける機会となった。 「ぬいぐるみのおとり会」 8月24日(日)実施（全2回参加者 子ども9人 定員各回5人）。昨年の実績を踏まえ、今年は午前午後2回実施し参加者数を増やした。「アルム」など、こまめにいただけるようになって子どもが感動していました。というお声をいただいた。	3	各種おはなし会、イベントを積極的に開催しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに実施していると判断できる。なおイベント時のキャンセル対応については、対応を一考していただきたい。	ヒアリング 取組事例 モニタリング資料（自主事業）

	<p>・児童・生徒を対象としたサービスとして、「巡回パネル展」（令和8年度実施、令和9年度以降年1回以上実施）、「小学生向け図書館ツアー」（令和7年度以降年4回以上実施）、「1日図書館員」（令和7年度以降年4回以上実施）、「小学生向けクイズラリーで図書館探検」（令和7年度実施、令和8年度以降年1回以上実施）、「子どものための図書館活用術講座」（令和7年度実施、令和8年度以降年1回以上実施）、「夏休み・自由研究サポートコーナー設置」（令和7年度実施、令和8年度以降毎年実施）、「図書館シールラリーチャレンジ」（令和7年度実施、令和8年度以降年2回以上実施）、「たくさん読んでガチャマシーンまわそう！！」（令和7年度2回実施、令和8年度以降年2回以上実施）、「図書館長になってみよう」（令和7年度実施、令和8年度以降年1回以上実施）、「プログラミング講座（大阪工業大学連携）」（令和7年度以降年2回以上実施）「小学生向けSDGsまあるき探検」（令和7年度実施、令和8年度以降年1回以上実施）、「SDGsの本棚」の設置、「中高生ポスターを募集・活動」（令和7年度実施、令和8年度以降年1回以上実施）、「中高生向けコーナーの設置」、「中高生ビジュアルバトル」（令和8年度実施、令和9年度実施）を行っている。</p>	<p>4</p> <p>・「親子でキットバス！ 絵本の世界を描こう！！」 4月13日(日)実施（参加者 全2回大人31人、子ども35人 定員各回15人）。キットバスという題材を使用し、スギヤマカゴ「みーせーて」の絵本に倣い絵本の世界を描くワークショップ。講師は他のセンターでも講師経験のある市民。「キットバスの魅力にはまりそう」というお声もあったように、市民に新しい体験を提供することができた。 「ふんわりのに原画展」 5月10日(土)から、吉里ヶ丘図書館、市内書店との巡回展を実施。絵本原画15点を交流センターギャラリースペースにて展示。児童だけでなく大人にも足を止めてご覧いただくことができた。 ・「小学生向け図書館ツアー」 5月11日(日)（参加者 大人1人、子ども2人 定員10人）、8月3日(日)実施（参加者 大人5人、子ども3人 定員10人）。実施してみると「知らないことも知れてよかった」といってお声をいただき、地道な活動ではあるが重要だと感じる。参加者が減ってきているため、下期には参加のモチベーションをあげるような工夫を施して実施する予定。 ・「1日図書館員」 7月21日(月)（参加者 子ども4人 定員6人）、9月15日(月)実施（参加者 子ども6人 定員6人）。参加してくれた子どもたちはもちろん、その子どもたちに「頑張ってたんだ」とお掛けをしてくださる利用者もおり、図書館事業に理解を得られていることを感じる事業であった。 ・「小学生向けクイズラリーで図書館探検」 「図書館クイズラリー」というタイトルで4月27日(日)実施（参加者 子ども33人 定員50人）。図書館内をじっくり回っていたことで、ブックダイアリーや自動貸出機も体験いただくことができた。 ・「子どものための図書館活用術講座」 5月6日(火)実施（参加者 大人2人、子ども2人 定員10人）。本を借りる場所というだけでなく、子どもたち自身で調べる力を身に着けるようになることを目的とした。 ・「夏休み・自由研究サポートコーナー設置」 「きらめきの世界！ 君だけの万華鏡をつろう」というタイトル6月29日(日)に講座を実施（参加者 子ども7人 定員10人）。そのほか自由研究コーナーとして関連書籍やパソコンを設置した。 ・「図書館シールラリーチャレンジ」 4月23日～5月12日実施（台紙配布数：218枚、景品配布128）。春の読書週間に合わせて開催。読書活動を通じて本や図書館への興味を引き出し、図書館への来館頻度と貸出数の増加、おはなし会参加の促進を目的とした。 「たくさん読んでガチャマシーンまわそう！！」 4月23日(水)～5月12日(月)実施。イベント開催期間中に本を15冊借りると1回ガチャを回せるもので、景品はオリジナル/バジ。 ・「プログラミング講座（大阪工業大学連携）」 「初心者向けプログラミング講座」として6月22日(日)実施（参加者 全2回大人7人、子ども8人 定員各5人）。外部組織との連携準備のために単発で実施したもの。弊社が全国展開している教材「こり」を使用し、小学生から参加できるように教室を実施した。 ・「親子でオリジナルスタンプづくり体験」 8月2日(土)実施（参加者 全2回大人7人、子ども9人 定員各10人）。スタンプ用のシートを使いオリジナルスタンプをつけて絵を描くワークショップ。「小学生が体験できるイベントはうれしい」というお声を保護者からいただいている。今後も様々な体験を提供できるような企画を行いたい。 ・「小学生向けSDGsまあるき探検」 枚方環境ネットワーク会議協力のもと令和7年11月実施予定。 ・「中高生ポスターを募集・活動」令和7年度中の実施を計画。 ・「中高生向けコーナーの設置」 開館当初から「YAコーナー」を設置。漫画棚の横に置くことで中高生の導線をターゲットにしている。また6月にはYA向けブックリスト「growth」を作成・配布を開始した。 ・「図書館周りでガチャガチャ！！」 9月28日(日)センター周年祭において実施。145人の方に参加いただけた。また「グルクンマスクさんがやってくる プロレスラーとおはなし会」も実施した。普段とは違う読み手の登場に会場は大盛り上がりであった。いずれの事業においても、センターのイベントに参加した市民を図書館側に取り込むという目的は果たせた。この反対もあるはずで、図書館・センターでよりよい相乗効果を生んでいきたい。</p>	<p>3</p> <p>計画に基づき事業を実施しており、参加者の感想は肯定的であり、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。下半期に実施を予定している事業についても子ども読書活動推進が図られるよう適正に実施されるとともに、効果検証にも努められたい。</p>	<p>ヒアリング</p>
	<p>・園・学校連携による読書活動推進として、「見学受け入れ・出張図書館サービス」、「図書館委員応援講座」、「おめでとう1年生（新一年生オリエンテーション）」（令和7年度実施、令和8年度以降年1回以上実施）を行っている。</p>	<p>3</p> <p>・5月22日(木)図書館見学受け入れ（津田小3年生児童9人・教諭1人）。学習指導要領を確認の上、公共図書館の意義や職員の役割、拡大読書器やコミュニケーションボードなどの障害者サービス、自動貸出機やBDSといった館内の設備、電子書籍等のサービスについて案内したのち質疑応答。</p>	<p>3</p> <p>見学受け入れによる小学校との連携が行われおり、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。下半期以降もさらに園や学校への働き掛けを積極的に行い、良好な関係を構築し、読書活動推進につながるよう努められたい。</p>	<p>ヒアリング</p>
一般成人を対象とした図書館読書振興事業が提案されている。（確認事項27）				
	<p>・「生涯の学びを支え、人との交流を創出する図書館として」、「図書館活用講座」（令和7年度実施、令和8年度以降年1回以上実施）、「大人の調べる学習体験講座」（令和8年度実施、令和9年度以降年1回以上実施）、「枚方市民に読んで欲しいわたしの一冊」本棚 オープン時のイベントにてかわつた方々や近隣の施設（簡易書店、ピーゴ！、生花屋、珈琲店など）で働く方の推薦図書展示を継続している。今後SNSでの発信を実施する。</p>	<p>3</p> <p>・「図書館活用講座」5月23日(金)大人向けということで18時開始とした。参加者は大人1人にどまり、今後広報・集客の課題が残る。 ・「大人の調べる学習体験講座」（令和8年度実施、令和9年度以降年1回以上実施） ・「枚方市民に読んで欲しいわたしの一冊」本棚 オープン時のイベントにてかわつた方々や近隣の施設（簡易書店、ピーゴ！、生花屋、珈琲店など）で働く方の推薦図書展示を継続している。今後SNSでの発信を実施する。</p>	<p>3</p> <p>多様な特集・展示は魅力的な活動として評価できる取り組みであり、近隣施設等との関係も単発で終わらずに継続しており本市要求事項を満たし、事業計画どおりに実施していると判断できる。引き続きの事業展開と課題への対応を期待する。</p>	<p>ヒアリング モニタリング資料（自主事業）</p>
	<p>・「多様な人々が利用できる図書館として、「りんごの棚」の設置、「障害がある子どもたちを図書館へ招待」（令和8年度実施、令和9年度以降年1回以上実施）、「R.E.A.Dプログラム」の実施（令和7年度以降年1回以上実施）、「やさしい日本語での図書館ツアー」（令和7年度実施、令和8年度以降年1回以上実施）、「ボランティアの募集・講習会・交流会」を行っている。</p>	<p>3</p> <p>・「りんごの棚」 令和7年度中の設置を予定。現在読書を行リスト申請中。 ・「障害がある子どもたちを図書館へ招待」（令和8年度実施、令和9年度以降年1回以上実施） ・「R.E.A.Dプログラム」 大阪府立図書館や高石市立図書館での実績のある「日本レスキュー協会」と協議を行い、7年度2月の開催を予定している。 ・「やさしい日本語での図書館ツアー」 6月8日(日)実施（大人1人）。参加者は1人のみであったが終了後には新規カード登録をいただいた。次回以降は市内読み書き教室などをターゲットに広報を拡充したい。 ・「ボランティアの募集・講習会・交流会」 配架ボランティア説明会を8月31日(日)、9月2日(火)実施し、9月30日から実際に作業に入っている。 おはなし会ボランティア説明会は9月10日(水)、9月14日(日)に実施。9月23日にはおはなし会を実施した。 現在23人の市民が在籍。いずれのボランティアも、ご本人の希望の日時に活動いただけるよう調整し、市民の社会貢献活動を後押ししている。</p>	<p>3</p> <p>図書館読書振興事業の一環として図書館に開くがある方が図書館で活躍できる機会を創出し、20人以上のボランティアの活動を後援していることは、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに実施していると判断できる。今後は、申込のあったボランティアとの信頼関係を構築し、図書館とボランティアの円滑な連携が進むよう努められたい。また、「りんごの棚」、「R.E.A.Dプログラム」の円滑な実施を期待する。</p>	<p>ヒアリング</p>
電子図書館の利用を増やす取り組みが提案されている。（確認事項28）				
	<p>・「いつでもどこでも本が読める」取組の推進として、「ひらいた電子図書館合同体験会」（令和7年度実施、令和8年度以降年1回以上実施）、「フニャ向け：デジタルコンシェルジュによる電子図書館講座」（毎月1回実施）、「学校向け：け電子図書館出張講座」（要望に応じて随時）、「ひらいた電子図書館に「独自資料の登録・公開」を行っているか。</p>	<p>3</p> <p>・「ひらいた電子図書館合同体験会」 他の分館で体験会を実施する際、お互いに次の体験会の案内を行うなどの連携を実施している。 ・「フニャ向け：デジタルコンシェルジュによる電子図書館講座」 4月21日、5月10日、6月28日、7月12日、8月9日、9月13日実施。6月からはフニャに職を立て、いつでも尋ねられるような環境にした。参加者数を伸ばすため、10月からは申込制を採用。たくさんの方に知っていただけたよう工夫を凝らした。 ・「学校向け電子図書館出張講座」 要望に応じて随時実施するもの。現在申込がないため学校にアピールしていく。 ・「独自資料の登録・公開」 前回のモニタリング時に、独自資料の容量上限についてご教示いただいた。協議を継続する。</p>	<p>3</p> <p>電子図書館の認知度を上げる取り組みとして体験講座を毎月実施するなど本市要求事項を満たし、事業計画どおりに実施していると判断できる。今後、学校等へのアプローチも含め、具体的な活用方法の紹介や、電子図書館の良さを知ってもらう取り組みを引き続き進められたい。</p>	<p>ヒアリング モニタリング資料（自主事業）</p>
立地条件を踏まえた利用者分析に基づく事業が提案されている。（確認事項29）				
	<p>・オンラインデータベース等を活用した利用者に係る分析（枚方市駅周辺＝ビジネスゾーンが多（行き交う人）に基づき、働く人の仕事と暮らしを支援するための時短読書「fier」の導入を行っているか。</p>	<p>3</p> <p>・市場情報評価ナビ「MeiNa」を活用した分析した結果を踏まえ、ビジネスパーソン向けに、ビジネス書・教養書の要約が読めるデータベース「fier」を導入済み、利用拡大に向けて施策を検討中。</p>	<p>3</p> <p>ビジネスパーソン向けのオンラインデータベース「fier」を導入しており本市要求事項を満たし、事業計画どおりに実施していると判断できる。今後は、データベースの利用状況や利用者の評価を知る取り組みを検討したい。</p>	<p>ヒアリング モニタリング資料（自主事業）</p>
	<p>・働く人の「学び」と一人暮らし・共働き夫婦の「暮らし」に役立つ本の「学びと暮らしの応援展示」を実施しているか。</p>	<p>3</p> <p>・「暮らし」「学び」等をテーマにした特集展示は令和7年度に実施予定。</p>	<p>3</p> <p>実施予定は確認済み。下半期に適切に実施されることを期待する。</p>	<p>ヒアリング</p>
	<p>・仕事帰りの立ち寄りスペースとして紹介本がなくとも傍聴者として参加できる「寄り道手ぶら読書会」を実施しているか。（令和7年度2回実施、令和8年度以降年2回以上実施）</p>	<p>3</p> <p>・定期読書会とは別に、「大人のための絵本読書会」を8月22日(金)実施（参加者 大人3人 定員6人）。仕事終わりでも参加しやすい19時からのスタートにしたが、キャンセルも発生した。参加された方の満足度は高かったため内容を変えながら次の実施に向けて準備を行っている。</p>	<p>3</p> <p>・定期読書会とは別の「大人のための絵本読書会」の実施を確認した。仕事終わりでも参加しやすい気軽に参加できる読書会の継続した取り組みを期待する。</p>	<p>ヒアリング</p>
(ハ) 連携事業提案（生涯学習交流センター）				
生涯学習交流センターと図書館との施設連携事業の実施について、具体的に提案されている（確認事項30）				
	<p>・「図書館専門企業ならではのノウハウやコンテンツ、業界内外のつながりを活かしたワークショップや図書館併用ボスト、ボードゲーム交流会等の生涯学習事業を事業計画に記載する回数で実施しているか。</p>	<p>3</p> <p>生涯学習交流センターと図書館との連携事業は、今年度は4回予定。 「図書館併用ボスト」は昨年度より継続して実施しており、定期的にセンターからの「入選者」が出るなど、参加者のレベルも高く、毎月月初に貼り出される「結果」には多くの利用者が足を止めて見る。それを話題に盛り上げるなどの光景も日常的に見られ注目度も高い。 「おはなし会」を毎月1回実施している。毎週ある図書館主催の「おちゃめな向けおはなし会」と合わせて実施することで、「このイベントの時には、今月のおはなし会の子どもをかんねでお祝いする」のが定例化しており、同じ月齢の子どもや誕生日の子どもの保護者同士がそれを話題に盛り上がるなど、交流している姿もみられる。 「日本書写実展 枚方にまつる風景」は、市内の各図書館からの巡回展示の形で実施。 京阪電車を中心に訪れた15枚の「はなは、枚方市内を走る「京阪電車」というキーワードで人々をつなげ、「懐かしい」「電車好きなお子どもらが喜んだ」等、世代を超えての交流や懐かし思い出話に花が咲くなど、人々の交流が生まれるきっかけにもなり、また展示スペースの活用例としても注目度が上がり、センターの活動団体から「あの展示スペースを使うにはどうすればいいか」との問い合わせが相次いだ。</p>	<p>3</p> <p>計画通りの事業本数を実施しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。 「お誕生日おめでとう会」に「おちゃめな向けおはなし会」の参加者の増加にもつながり良い連携がとれている。</p>	<p>ヒアリング モニタリング資料（取組事例） モニタリング資料（自主事業）</p>
枚方市駅直結の立地を生かし、ビル内のテナントなど周辺施設等との連携を意図した賑わいづくりや市民等の交流の機会の創出を目的とした事業について、具体的に提案されている（確認事項31）				

<p>「総合文化芸術センターや市立方南館建築資料館、各生涯学習市民センターといった周辺施設や、各テナント等と連携し人々の学びにアクセシビリティを後押しする連携事業を事業計画に記載する回数で実施しているか。」</p>	<p>3</p>	<p>今年度は「地域連携」としての事業を2回実施予定。 6月14日(土)に行われる総合文化芸術センター-OfT-ArtsFestaでのスタンプラリーの「館外チェックポイント」として場所を提供し、市内の人流創出、特に枚方市駅周辺にぎわい創出に「学びにアクセシビリティの場づくり」において貢献した。さらに同日には自主イベントとしての「DIY-Work」を同時に開催。総文のスタンプラリーを目標として来場した方へ、さらにセンター利用へ呼び込むための工夫として、お互いの人流が行き来できるように相乗効果を狙って実施した。 11月には市立方南館建築資料館より講師をお招きし、「くらし学講座」を開催予定。 過去に市内図書館では平日の日に開催しているイベントを、交流センターのターゲット層に合わせ、「土曜日夜間」の日時で開催予定。普段、平日日中にはイベントに参加できない層を担い、さらなる学びの機会を提供する。 図書館では9月に枚方モデルのテナント「SleepSmile」より講師を招き、「快眠セミナー」を開催。人々の関心の深い「睡眠」をテーマの講演は、大変好評であった。</p>	<p>3</p>	<p>計画通りの事業本数を実施しているため、本市主要事項を満たし、事業計画とおり運営していると判断できる。 引き続き連携を継続していただきたい。</p>	<p>「アニングモーション」資料(自主事業)</p>
---	----------	---	----------	--	----------------------------

ことも家庭センターとの連携事業が提案されている。(確認事項3 2)

<p>「特別展示」の開催や、特設コーナーでの講座や文芸交流などのイベント時の出展展示、展示本のブックリストの作成、SNSでの発信、「まるっと子どもセンター」での健康診断に図書館スタッフによる出張図書館の実施（週1回以上2時間程度）「保護者向け電子図書館体験会」を行っている。</p>	<p>また、カラオケやアートを鑑賞しているにたいして、通称「特設」図書館で新着記録に添えて読書カードも用意するなど、図書館に設置されているサインageにて、まるっと子どもセンター主催事業の情報を投影、広報活動でも支援を実施している。</p>	<p>「特別展示」の開催や、特設コーナーでの講座や文芸交流などのイベント時の出展展示、展示本のブックリストの作成、SNSでの発信、「まるっと子どもセンター」での健康診断に図書館スタッフによる出張図書館の実施（週1回以上2時間程度）「保護者向け電子図書館体験会」を行っている。</p>	<p>「特別展示」の開催や、特設コーナーでの講座や文芸交流などのイベント時の出展展示、展示本のブックリストの作成、SNSでの発信、「まるっと子どもセンター」での健康診断に図書館スタッフによる出張図書館の実施（週1回以上2時間程度）「保護者向け電子図書館体験会」を行っている。</p>
---	--	---	---

ビル内のテナントなど周辺施設等との連携を意識した事業が提案されている。(確認事項33)

として、「枚方市総合文化芸術センター連携事業」、「枚方ビオルネ連携事業」、「枚方市図書館連携事業」、「施設・テナント連携による読書活動啓発ポスターの作成」、「ホテル連携事業：ドラッグライブラリー設置」、「テナント連携（菓子店）」、「テナント連携（飲食店）」、「テナント連携（書店）」（令和7年度以降1回以上実施）を行っている。

6月14日(土)総合文化芸術センターにて絵本の読み聞かせを実施（参加者 全2組計64人）。また、読解きイベントのポイントを総合文化芸術センター・図書館において、周施設の利用を促した。お互いに盲導リサーチできない備へのアプローチができたという点で意義のあるイベントとなった。

・周施設（ビオルネ・鳥屋書店など）のスタッフ様とのおすそ分け展示を継続している
・枚方モデルナント「Sleep Smile」店長と講師に招いた「快眠セミナー」
9月23日(火)実施（参加者 大人33人 定員40人）。18%の方が初めての来館で、カードを作ったくださった方もあり、イベント実施することによって新規来館者を獲得することになった。

・「ひらたてブックストーリー」（主催：ひらたて文学の会）参加
市駅前図書館に複数の地元書店や絵本カフェが参加し、人やまちとの出会いを通じて「本との新たな接点」を創出する取り組み。市駅前図書館が本施設の提案コンセプトである「社会教育とまちづくりの結節点（むすびめ）」をくらしを体現した地域連携事業。

2025年6月7日(土)実施（参加者 大人32人 定員30人）
10:00～11:00 図書館に集合・自己紹介・参加施設紹介
11:00～15:00 自由時間、市内の書店をマップ片手に巡るまちあるき
15:00～16:00 図書館に戻っていただきグループワークを実施。購入本の紹介や感想を共有

印象的だった参加者の声として「枚方には、図書館や鳥屋書店のようにたくさん本がある場所」があるからと、個人書店を本を遊ぶ楽しさがあるというものがあつた。公共・民間、大書店と個人書店が共存する地域ならではの読書文化のありかた。（豊か）を、参加者の感想から改めて認識した。

新規カード登録などもあり、図書館のプールや貸出増加に寄与する面もあるかと思うが、それよりも、図書館と地元書店の連携、さらにまちあるきと組み合わせた取り組みは、図書館といつてもいい、地域全体での読書振興が進められたという意味が好事例となった。

・「ひらたてブックバーガー」参加
6月28日(土)実施。上記イベントの第二弾。ニッパビルに書店や出版社、ブックカフェなど、本をキーワードに約60の出店者が一堂に集するイベント。図書館は絵本を並べ、図書館や電子図書館、スマート登録の紹介を行いながら、市内の書店様と順番におはなし会を実施した。後日別のイベントに参加したところ「図書館の人」として市民から声をかけていただくことがあり、外部のイベントに参加することの意義を感じることとなった。

特徴的な取り組みとして注目されるもので、様々な事業の実施は図書館の新規利用登録や図書館の認知度向上につながっており、本市要求事項水準以上の効果があつたと評価できる。今後も積極的に施設の利用促進の可能性を追求されることを期待する。

利用者に対する接遇

・誰もが快適で居心地の良い場所となるよう スタッフが行

		議と高度な専門性を身に着けよう」を発揮して、館内がさらに快適で居心地の良い場所になるようにスタッフ全体で努めている。			し、事業計画どおりに運営していると判断できる。	
・施設の立地条件を踏まえたビル内の案内や周辺案内、観光案内なども含む問い合わせの窓口対応を行っているか。	3	ビル内の案内や周辺案内については、問い合わせに真摯に丁寧に对应できるようにしている。 開館以降すぐに、商業施設の営業時間によって変わる施設への動線を3パターンにして「動線案内のチラシ」を作成して配布した。現在も利用者の求めに応じてカウンターに設置し配布している。 また、同内容の掲示物は各入口の入館者ゲートにも掲示している。 その他、「枚方市駅周辺情報」ファイルをカウンターに設置し、枚方モール内外のテナントや府税事務所等、周辺施設への道案内を含む利用者からの問い合わせ対応には、できる限り速やかかつ親切な対応できるように常に準備している。 そのほか、今年8月にあった枚方モールの臨時休館では、館内やHP・SNSにて事前にモール内通路が通れない際の施設への導線（経路案内図）を写真付きでわかりやすく掲示し、利用者への事前の案内や説明に努めた。このように事前の告知から枚方モールの臨時休館日（当日）にかけて丁寧に对应をしたことで、利用者から「おかげで当日に慌てず安心して利用ができた」という感謝の言葉をいただいた。	3	施設の立地条件を踏まえたビル内の案内や周辺案内を行うっており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）	
・接客サービスに関する研修を実施しているか。	3	令和7年度中の実施予定。	3	サービスに関する研修を実施予定であるため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。下期に確実に実施していただきたい。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例） モニタリング資料（研修計画表）	

利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法や利用者等の安全・秩序維持のための適切な対応方法等について提案されている。(確認事項 35)

施しているか。		館内では1時間ごと1回程度の定期的な巡回を行い、館内の秩序維持・安定に努めている。		現地確認
・投書箱や利用者アンケート等の実施による利用者の声の聴取。過去のケーススタディを活かしたクレーム対応のスキルアップ。館内状況への常時の気配りなど。苦情や利用者トラブルを未然に防ぐ仕組みづくりを行っている。	3	館内に投書箱を設置し、利用者からご意見があれば対応できるようにしている。 今年度の利用者アンケート（1回目）は10月中に実施予定。	3	定期巡回を実施しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営している。確認済み。
利用者トラブル発生時の対応策を整備し、枚方市の情報共有を徹底しているか。	3	利用者からカンタンなことでスタッフへの要望やお問い合わせがあった際には、丁寧にアプし、その後上長に報告。 即時対応できるものは、速やかに対応し、協議が必要なものは館内や所管課と共有の上、その変更点や内容についてはセンター・図書館の業務連絡で漏れのないように周知を行い、全スタッフに共有している。	3	苦情や利用者トラブルを防ぐ仕組みづくりが行われているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
			3	トラブル発生時の対応策を整備しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

・仕様書、業務要求水準事項、事業計画書の履行状況	3	仕様書、業務要求水準事項、事業計画書に基づき、毎年6月・9月・12月・3月の時点での進捗状況をチェックするべくセルフモニタリングを実施している。
--------------------------	---	--

<p>・2019年4回のゼミ生ヒアリングを実施している。</p> <p>・年2回の利用者アンケート調査および非利用者のニーズを探るためのWEBアンケートの実施。また、各施設年1回の利用者懇談会の実施している。</p>	3	<p>利用者アンケートは2025年10月10日(金)～26日(日)の期間にWebと紙で実施予定。 センターの利用者懇談会は来年1月以降に実施予定。</p>	3	<p>おり、運営している」と判断できる。</p> <p>利用者アンケート、利用者懇談会の実施を期しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。予定通り実施しているとよい。</p>	ヒアリング
<p>・「ご意見箱・子どもおたよりコーナーを設置しているか。」</p>	3	<p>ご意見箱は設置済。 「子どもおたよりコーナー」は個別に別の箱を設けていないが、「ご意見箱」へ子どもと思われる利用者からの意見や感想が入ることはある。（「〇〇の本が欲しい」「本を貸してあげて欲しい」等） カウンター等で頂いたご意見については、即時対応できるものは対応し、適宜その内容を所管課とも共有している。 即時対応は例として、移動式読書「複数枚使いたい」「和室・フルームなどで使用したい」というものがあり、商品として追加購入し、人数が少ないダンスや体操系の団体でも「部屋の規模を問わず活動しやすいかな」と喜んでいただいた。</p>	3	<p>ご意見箱（子どもおたよりコーナー含む）を設置しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。</p>	ヒアリング
<p>・利用者の声を共有し、対応可能なものは迅速にサービスに反映しているか。</p>	3	<p>利用者からカウンターなどでスタッフにご要望やお問い合わせがあった際には、丁寧にヒアリングし、その後上長に報告。 即時対応できるものは、速やかに対応して、協議が必要なのは館内や所管課と共有の上、その変更点や内容についてはセンター・図書館の業務連絡で漏れないように周知を行い、全スタッフに共有している。</p>	3	<p>利用者の声を共有し、対応可能なものは迅速にサービスに反映しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。</p>	ヒアリング

・年2回の利用者アンケート調査および非利用者のニーズを探るためのWEBアンケートの実施。また、各施設年

できる。予定通り実施してください。

「子どもおたよりコーナー」は個別に別の箱を設けていないが、「ご意見箱」へ子どもと思われる利用者からの意見や感想が入ることはある。（「〇〇の本が欲しい」「本を貸して」を設置しているため、本市要求事項を満た

ダンス等と異なり、即時対応できるものは対応し、適宜その内容を所管課と共有している。

[illegible]

迅速にサービスに反映しているため、本市

[illegible]

・人権についての知識と理解を深める研修を実施している。	3	昨年度は8月に障害者サービス研修・接遇研修を実施。人権についての知識と理解を深めた。	3	人権についての知識と理解を深める研修
-----------------------------	---	--	---	--------------------

ひ、伊東が、國と對等に適合していることを証明
で済む。

[illegible]

関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った管理計画が提案されている（確認事項38）

画を実行しているか。	そのうえで、適切な保守管理に努め、利用者の安全確保を第一として「事故を出さない施設づくり」、「利用者満足度向上に向けた施設環境及び美観向上に向けた改善」	沿った管理計画を実行しているため、本市
------------	--	---------------------

[illegible]

	・総括、副総括責任者を筆頭し、各施設、リーダー・サブリダー等は仕様書に定める業務実施体制を確保しているか。	3	総括、副総括責任者及び各施設リーダー・サブリダーは仕様書の条件を満たし、業務実施体制を確保している。	3	総括、副総括責任者及び各施設リーダー・サブリダーは仕様書の条件を満たし、業務実施体制を確保しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
	・図書館スタッフの70%以上が司書・司書補・司書教諭資格を有する体制をとっているか。	3	令和7年9月30日現在、司書率は83.3%。	3	図書館スタッフの70%以上が司書・司書補・司書教諭資格を有する体制をとっているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
	・「地域連携・広報サブリダー」として、「地域連携担当者」と「広報担当者」を配置しているか。	3	「地域連携担当者」1人と「広報担当者」2人を配置している。	3	「地域連携・広報サブリダー」として、「地域連携担当者」と「広報担当者」を配置しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
日常的・定期的に施設を巡回・点検するなど、利用者が安全かつ快適に過ごせる環境の整備について提案されている（確認事項40）						
	・挨拶の励行や危険情報の把握など、施設内での犯罪行為等の防止や制止力向上に向け取組みを行っているか。	3	カウンターでのあいさつ励行に加え、フロア巡回時などにも館内の安全確保に努めるように、定期的な巡回（1時間に1回程度）や積極的な声かけを行って、館内の秩序保持に努めている。 転倒可能性のあったカウンター前パーティションの移設やおはなしスペース内にあったテーブルを外側へ移動した。他にも、幼児がいたずらをすることがある一部の柱や壁にある埋め込み型のコンセントを封鎖するなど、安全性向上に努めた。	3	挨拶の励行に加え、施設内での犯罪行為等の防止や制止力向上に向けた取組みとして定期巡回や、けがの原因となる物品の移動などを行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
備品管理に当たり、管理簿の整備および責任所在について提案されている。（確認事項41）						
	・「無償使用可能備品等一覧表」をもとに施設備品等の状態や数値を確認の上備品管理簿に記載し、備品の修繕・更新を実施。また、年1回棚卸を行い、備品管理簿を更新しているか。	3	備品棚卸を月に1回程度実施し、状況の把握に努めている。	3	施設備品等の状態や数値を確認するため、備品棚卸を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、節電、節水、省エネルギー等具体的に提案されている（確認事項42）						
	・循環型社会の基本的な考え方である5Rの取り組みを行っているか。	3	紙資源等のリサイクル推進によるごみの減量以外にも、エコマーク商品、グリーン購入法適合商品、グリーン購入ネットワーク（GPN）が運営する「エコ商品ねと」（GPNデータベース）に掲載されている商品、メーカーがグリーン購入適合と定めた商品を購入することで、5Rの推進を進めている。	3	5Rの取組みを実践しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
	・除籍図書や雑誌、不要な紙類を引き取り、リサイクル・再製品化するブック・工を推進しているか。	3	除籍図書や新聞、受入しない寄贈本等は、中央図書館に送付し古紙回収に回していた。	3	除籍図書や雑誌等を中央図書館の古紙回収に入れており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	現物確認
業務に従事する者及び利用者の手指や備品の消毒、施設の換気等、感染症の拡大防止策が提案されている（確認事項43）						
	・必要に応じた飛沫防止や消毒液の設置など臨機応変な感染症対策を実施しているか。	3	消毒用アルコールはカウンターに常時設置。図書館には図書除菌機を設置し、利用者の健康意識の向上に努めている。	3	カウンターへの消毒液の設置等、感染防止対策を実施していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例） 現地確認
【情報公開および個人情報保護の措置に関する事項】						
枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されている。（確認事項44）						
	・開示請求に対応する真摯な姿勢と自治体との協調、個人情報や第三者情報への十分な配慮を行っているか。	3	所管課と協力して個人情報や第三者情報に配慮しながら、適切な対応をするように努めている。	3	個人情報や第三者情報に配慮しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
	・利用者アンケートの集計結果やご意見、その対応策などの館内掲示板、公式ホームページ、Instagram等への掲載による市民に対する積極的な情報開示を行っているか。	3	イベント毎や、休館日及び混雑状況の可視化など、市民及び利用者に対し、積極的かつ施設利用につながるような効果的な情報公開を行っている。	3	Instagram等を利用し積極的に情報発信を行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング Instagram
個人情報保護法及び関係法令の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されている。（確認事項45）						
	・個人情報保護に係るマニュアルや規定、チェックリストを整備しているか。	3	個人情報保護チェックリストを作成し、その手順を全スタッフで確認している。このチェックリストは作業マニュアル（手順書）も兼ねている。	3	個人情報保護チェックリスト・作業マニュアル（手順書）を備えているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
	・個人情報保護に関する研修を実施しているか。	3	年に1回（今年度は令和7年11月～12月に実施予定）、個人情報保護研修を実施し、全スタッフが参加。就業時の個人情報について意識を高め、再確認する場としている。	3	個人情報保護に関する研修を下期に予定しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。予定どおり実施されたい。	ヒアリング モニタリング資料（研修計画表）
	・個人情報保護に関する就業規則を遵守しているか。	3	個人情報保護に関する誓約書を入社時及び枚方市内施設への配属時にそれぞれ提出している。	3	個人情報保護に関する就業規則を遵守していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
	・年1回の社内監査チームによる定期監査を実施しているか。	3	今年度は令和7年11月17日(月)に実施予定。	3	社内監査チームによる定期監査を下期に予定していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。予定どおり実施されたい。	ヒアリング
	・パンターの使用や申請書類の仕分けなど個人情報保護対策の取組みを行っているか。	3	個人情報書類はパンターで挟み紛失を防止。カウンター内でも種類別にファイリングし、作業途中でスタッフが入れ替わってもなくすことがないように工夫している。	3	個人情報の紛失を防止するための対策を行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
【緊急時における対策に関する事項】						
緊急時、防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等が提案されている。（確認事項46）						
	・「危機管理マニュアル」を策定しているか。	3	TRCの危機管理マニュアルを作成している。	3	「危機管理マニュアル」を策定していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング 現地確認
緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されている。（確認事項47）						
	・大規模災害時の職員の手配整備体制表を作成しているか。	3	1号配備時には所長・館長のみ、手配整備体制表を作成している。	3	大規模災害時の職員の手配整備体制表を作成していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
	・緊急時の指揮系統と連絡系統を設定しているか。	3	危機管理の連絡フローを会社として作成。また、自衛消防組織図を個別に作成し、有事に備えて誰もが「自分ごと」として行動できる体制を作っている。	3	緊急時の連絡体制、自衛消防組織図の作成など、体制整備を行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
	・総合消防訓練や避難訓練、消火訓練、危機管理研修、救急救命講習、防犯講習を各年度1回実施しているか。	3	7月に「救命講習」、8月にビル全体の「総合消防訓練」を実施。「総合消防訓練」では研修用DVDの視聴を通じて、「いざい」といふ心の構えや「消火方法」「危機管理」に関する事象を全員で学び、有事に備えることとした。「避難訓練」は令和8年2月頃に実施予定。	3	総合消防訓練等、各種訓練を計画的に実施していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例） モニタリング資料（研修計画表）
構成員間（本支社間含む）、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容となっている。（確認事項48）						
	・市と指定管理者との間におけるリスク分担表を理解し、誠実に対応しているか。	3	有事やトラブル発生時には、リスク分担表に基づき、市と協議の上誠実に対応する。	3	リスク分担表に基づき、協議の上、対応していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
	・施設賠償保険に加入しているか。加入している保険の名称を明示できるか。	3	施設賠償保険に加入している。	3	損害賠償保険の加入を確認できていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
【その他】						
高齢者・障害者サービスを維持・向上させる取組みについて提案されている。（確認事項49）						
	・認知症サポーターを配置しているか。	3	令和7年10月以降に認知症サポーター養成講座を実施予定。	3	下期に認知症サポーター養成講座を予定しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。予定どおり実施されたい。	ヒアリング
	・拡大鏡や老眼鏡などの備品設置やコミュニケーションの工夫のほか、高齢者居場所づくりイベント、高齢者向けスマートフォン・電子図書館操作講座、認知症の理解促進事業の開催など高齢者の生涯学習と読書活動の支援を行っているか。	3	・老眼鏡・拡大鏡それぞれのカウンターに設置しているほか、カウンターには杖ホルダーを設置するなど、利用者の利便性向上に努めている。 ・高齢者居場所づくりイベントとして、6月26日(木)「季節の折り紙交流会」を実施（大人7人）。スタッフがサポートに入りつつ、参加者同士で楽しんでいただくような事業とした。	3	拡大鏡・老眼鏡の設置や高齢者居場所づくりイベントの開催等、高齢者支援を行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
	・障害者サービス研修を実施しているか。	3	・令和7年11月に実施される度大阪公共図書館協会「障がい者サービス実務研修」に参加予定。内容をスタッフ全体に共有する予定。	3	下期に障害者サービス実務研修を予定されており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。予定どおり実施されたい。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例） モニタリング資料（研修計画表）

・コミュニケーションボードや単談ボードといったコミュニケーションツールの設置ややさしい利用案内の配布しているか。	3	コミュニケーションボードはセンター・図書館共用で、単談ボードはそれぞれのカウンターに設置。利用者からの求めに応じ、適宜使用できるように準備している。	3	コミュニケーションボードや単談ボードを設置していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
・バリアフリー読書支援を周知しているか。	3	・令和7年度中の設置を予定「りんごの橋」にて、バリアフリー読書支援や利用方法などをあわせて知ってもらえるような欄にする予定。	3	下期にバリアフリー読書支援として欄の設置を予定しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。予定どおり実施されたい。	ヒアリング モニタリング資料（自主事業）
施設の利用促進に繋がる広報活動等について具体的な実施計画が提案されている。（確認事項5 0）					
・シンボルマークやロゴマークを活用した各広報ツールの制作などのブランディング戦略を行っているか。	3	施設の建築コンセプトを理解し、特徴的な意匠である施設中央の「シンボルタワー」「ボタニカルウォール」をデザイン化してシンボルマークを作成。作成にあたっては、市内のデザイン会社・デザイナー・イラストレーター等に協力を依頼。印象的なシンボルマークとして各広報ツール（印刷物、SNS、HP等）に積極的に使用し、施設全体のブランディング戦略として有効的に活用している。	3	シンボルマークを作成し、各広報ツールに積極的に使用しブランディング戦略を行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング 現物確認（広報ツール） モニタリング資料（取組事例）
・広報担当者を設置するとともに、YouTubeチャンネルの開設やニュースターの制作など若年層から高齢者まで情報が行き届くような日常的な広報活動や多角的な広報活動を行っているか。	3	広報担当者を設置し、「YouTube」「SNS(Instagram)」「ホームページ」を開設し、施設の認知度アップ及びイベントの告知・参加者募集・施設のブランディングやイメージ向上に役立て積極的に投稿を行い、フォロワーを確実に増やしている。 ニュースター（広報誌）「knodels」では、これまでイベント講師を務めていた市内の珈琲店の店主やイベント講師の紹介や、サークル活動の告知・紹介などを行なうだけでなく、教養・ライフ・グルメ・ファッション・子育てなど、幅広い分野の情報を提供し、利用者の「かかわり」を増やす工夫を行い、さらなる施設利用者とファン獲得のための広報活動を行っている。	3	広報担当者を設置し、YouTubeチャンネル・SNSなどの発信力を注ぎ、毎月、広報誌による広報活動も合わせて行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング 現物確認（広報物） モニタリング資料（取組事例）

指定管理者による一次評価 平均点	3.1	所管部署による二次評価 平均点	3.0
---------------------	-----	-----------------	-----

評価項目1 (1)の評価基準			
S	事業計画における提案以上に、良好な管理運営を行っている	二次評価の平均点が4点以上	
A	事業計画に則した適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が3点以上4点未満	
B	事業計画の履行において一部努力が必要だが、概ね適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が2点以上3点未満	
C	事業計画の履行において、抜本的な管理運営の改善が必要	二次評価の平均点が2点未満 または「1」の評価があり、かつ、その理由が重大な内容である場合	
評価項目1 業務の履行状況 (1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項の評価（所管部署）			A

(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	評価	評価理由	指定管理者による一次評価	評価	評価理由	所管部署による二次評価	評価の根拠（資料名等）
・収支予算書と比較して収入額が大幅に減少していない。／大幅に乖離している場合、その理由は何か、また、その理由が妥当で、今後安定した収入を得られる見込みがあるか。	○	大幅に乖離していない。		○	大幅に乖離していないことを確認。		ヒアリング
・収支予算書と比較して、想定外に多く支出している費目がない。／想定外に多く支出している費目がある場合、その理由は何か、また、その理由は妥当で、今後、予定外の支出が発生するおそれはないか。	○	想定外に多く支出している項目はない。		○	想定外に多く支出している項目がないことを確認。		ヒアリング
・運用資金の借入を行っている。／借入を行っていない場合、その理由は妥当か。	○	運用資金の借入は行っていない。		○	運用資金の借入を行っていないことを確認。		ヒアリング
・口座管理、つ銭等の現金管理は適正に行われているか。	○	現金管理は適正に行われている。		○	現金管理は適正に行われているのを確認。		ヒアリング

評価項目1 (2)の評価基準			
S	全ての項目が適正（適切）であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる	
A	全ての項目が適正（適切）である	全ての項目が○	
B	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である	△が1個以上	
C	不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上	
評価項目1 業務の履行状況 (2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況の評価（所管部署）			A

(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）に実施している。
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）に実施している。
×	実施していない、又は不適切な点がある

評価ポイント	評価	評価理由	指定管理者による一次評価	評価	評価理由	所管部署による二次評価	評価の根拠（資料名等）
・募集要項2ページに記載している再委託禁止に関する事項を順守し、市の承認手続きが適切に行われているか。	○	再委託禁止に関する事項を順守し、市の承認手続きが適切に行っている。		○	再委託に関する事項順守し、運営している。		ヒアリング
・指定管理業務に伴い発生する経費及び収入を、指定管理者が他の事業等で利用する口座とは別の口座で管理しているか。	○	別の口座で管理している。		○	別の口座で管理していることを確認した。		ヒアリング
・個人情報保護法等の関係法令に基づき個人情報保護に適切な措置を講じているか。	○	必要な措置を講じている。		○	必要な措置を講じていることを確認した。		ヒアリング
・労働基準法等の労働関係法令を遵守しているか。	○	労働関係法令を順守している。		○	関係法令を遵守していることを確認した。		ヒアリング
・職務の執行に対する意見、要望等の記録に関する条例に基づき記録等の対応を行っているか。	○	記録は適切に行っている。		○	日報等で記録しているが、職務の執行に対する意見、要望等の記録等に該当するものはなかった。		ヒアリング
・指定管理者が業務に伴って作成し、又は受領した文書等に關し、文書管理に関する規定等を定め、適正に管理・保存しているか。	○	文書は適切に管理している。		○	管理規定等を定め、適正に管理・保存していることを確認した。		ヒアリング
・募集要項12ページに記載している「環境への配慮」が適切に行われているか。	○	「環境への配慮」が適切に行われている。		○	光熱水費の削減目標の設定、グリーン商品の購入を実行しており、環境への配慮が適切に行われていることを確認した。		ヒアリング
・適切な保険に加入しているか。	○	適切な保険に加入している。		○	適切な保険に加入していることを確認した。		ヒアリング 加入保険名を確認
・指定管理者名と設置者としての市の連絡先を施設内に表示するとともに、利用料金表等に明記しているか。	○	明記している。		○	各表示は館内に表示していることを確認した。		ヒアリング 現地確認
・障害者法定雇用率が達成され（又は達成に向けて取り組み）ており、募集要項13ページに記載している障害者差別解消に関する取り組みが行われているか。	○	障害者法定雇用率はクリアしている。		○	適切に取り組まれていることを確認した。		ヒアリング
・利用者に対するアンケート等、利用者ニーズの把握収集を適切に行うとともに、その結果を踏まえて改善に取り組んでいるか。	○	アンケート結果や利用者からの直接いただく意見などを参考にし、利用者のニーズを解析し、備品の購入検討やサービス改善案を実施していく。		○	利用者アンケートを実施予定。利用者のニーズを解析し、業務改善に取り組まれていることを確認した。		ヒアリング アンケート結果報告

・事業報告書、日報・月報等を遅滞なく市に提出するとともに、業務の実施状況が適切に報告されているか。	○	報告書類は遅延なく適切に報告している。	○	事業報告書、日報・月報等を遅滞なく提出され、適切に報告されている。	ヒアリング 各種報告書
・施設や設備等の修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されているか。	○	修繕が必要な箇所は事前に所管課に相談報告の上実施し、完了後も報告している。	○	修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されている。	ヒアリング

評価項目 1 (3)の評価基準			
S	全ての項目が適切に実施されており、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる	
A	全ての項目が適切に実施されている	全ての項目が○	
B	一部改善が必要であるが、概ね適切に実施されている	△が1個以上	
C	不適切な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上	

評価項目1 業務の履行状況 (3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項の評価 (所管部署)	A
---	---

2 業務の継続性・安定性

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適）
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価		評価の根拠（資料名等）
	評価	評価理由	評価	評価理由	
・応募の資格に抵触する事項はないか。	○	抵触する事項はない	○	応募資格に抵触する事項はない。	ヒアリング
（監査報告書等） ・会計手続きが適正に行われていることが確認できたか。	○	適正に行われている。	○	会計手続きが適正に行われていることを確認した。	監査報告書
（監査報告書等） ・事業の存続に関わる異常事項が指摘されていないか。	○	指摘されていない。	○	異常事項が指摘されていないことを確認した。	監査報告書
（貸借対照表） ・資産・負債の中に大きな前期比増減がない。／ある場合、その理由は妥当か。	○	適正である。	○	大きな前期比増減は生じていない。	貸借対照表
（損益計算書等） ・安定した収益をあげられているか。（赤字となっていないか。）	○	適正である。	○	安定した財務状況となっている。	損益計算書
・施設の収支状況（自主事業の収支を含む）が安定しているか。（赤字の場合は、その赤字分を継続的・定定的にかへてくる財務状況となっているか。）	○	適正である。	○	安定していることを確認した。	ヒアリング
・その他、団体の経営に影響する要素はないか。	○	影響する要素はない。	○	団体の経営に影響する要素はないことを確認した。	ヒアリング

評価項目 2 の評価基準		
S	継続的・安定的にサービスを提供できる状態であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	△が1個以上
C	不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上

評価項目 2 業務の継続性・安定性の評価 (所管部署)	A
-----------------------------	---

3 指定管理者による一次評価（総括）

一次評価コメント

＜生涯学習交流センター＞ 昨年9月のオープン以降約1年が経ち、諸室の利用状況は平均で82%を越え、そして交流ロビーも終日にぎわいを見せるなど、引き続き市民の皆様の交流の場・学びの空間として、親しみをもって利用していただけております。 昨年度まではやや低調であった夜間利用についても、今年度に入り平日や土曜日は予約で埋まる日も増えており、平日には、すべての諸室で利用区分すべてが予約が埋まるというのも珍しいことではなくなってきました。 「場としての利用」にとどまらず、「生涯学習を促める」「学びの機会を増やす」「様々な角度・年代へアプローチした自主事業イベントの実施（初心者向けワークショップの開催や多種多様なロビー活用事業の実施）」に加え、「生涯教育のまち・枚方」の市民の素地によるものも大きいと思います。 また今年9月には枚方モールのイベントである「アラウンドひらかた」の催しの一つとして、自主事業イベント「ロビーコンサート」を開催したところ、全2回の参加者が約200人と過去最高を記録するなど、枚方モールのイベントのにぎわいを施設の利用者へと還流し、また「交流センターからどらへん」という人の流れを生み出すことができました。さらに、同月におこなったセンターまつりを兼ねた1周年記念イベントの「(k)not hirakata2025 によき」では、日頃交流センターで活動されている団体やサークルの皆様の活動発表の場としての役割だけでなく、近隣市の住民や沿線の住民といった「関係人口」増加への1つの施策として、音楽アーティストのトークショーや枚方出身のプロレスラーによるトレーニング講座、昨年も人気だったふれあい移動水族館、地元で人気の飲食店による飲食物販売の実施等、地域の大小さまざまなイベントを10以上用意し、2日間で延べ1,000人以上の方に参加していただきました。これらのイベントを通じて枚方を知り、そして好きになる」きっかけを提供できたと考えます。 今後も「気軽に」、そして「他にはない」魅力的な講座・イベント等を通じて、生涯教育・社会教育への興味関心を育て、地域のブランド価値を高めるような運営を行ってまいります。 ＜市駅前図書館＞ 新年度に入りオープン後のにぎやかさは落ち着きをみせ、利用件数・貸出冊数ともに6月ごろまで下降傾向にありましたが、これは年度替わりに伴う市民の生活環境の変化等が影響しているものと考えられます。その後7月からは上昇しており、夏休みにピークを迎えました。また、予約数は昨年から増加を続け、2024年10月と2025年9月では200%近い数字となっております。利便性を感した市民が再び利用してにぎわっている傾向が継続されているものと考えられます。枚方市駅設置の予約資料受取ロッカーも微増ではありますが、利用は開館以来上昇傾向にあります。来館者は依然として高い水準を保っていますので、今後は図書館・センターのイベント等で来館される方を図書館利用につなげるべく工夫を加えていきたいと思います。 事業としては、定例の図書館事業に加え、総合文化芸術センター主催「H-Artsフェスタ」やステーション枚方「アラウンドひらかた」、市民有志による「枚方ブック（ザール）」などの外部イベントに積極的に参加してまいりました。「H-Artsフェスタ」や「アラウンドひらかた」のように相互に利用者の循環を促せるような効果が見られたことは収穫であるとともに、「ひらかたブックストリート」では市駅周辺の書店やブックカフェと協業するなど、図書館だけでなくさまざまな地域ぐるみでの読書推進活動が行えたことが特に意義深いものだとと確信しております。下期についてもすでに外部イベントへの参加や連携を企画しています。他組織との連携強化により、市駅前周辺での図書館のプレゼンスの向上、読書推進を図ってまいります。 昨年度末に募集したボランティア事業では、おはなし会・配架グループそれぞれに研修会を計4回実施しました。特におはなし会研修は、枚方ブック（ザール）にて案がりを得た市内書店様に講師をお願いすることができました。9月から実際におはなし会、書架整理や配架作業をしていただいています。今後も図書館をさかかたした市民の社会貢献活動を後押ししてまいります。 上期は地域の皆さまに支えられながら、イベントやボランティア活動など、多様な取り組みを進めることができました。図書館が市内のさまざまな組織や個人と繋がることにより、市民に還元できていることを感じています。下期も皆さまに気軽に立ち寄りていただけた図書館を目指し、親しまれる居場所づくりに努めてまいります。

4 所管部署による二次評価（総括）

(1) 評価項目ごとの評価結果及び総合評価

評価項目		評価結果
1 業務の履行状況		
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項		A
(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）		A
(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項		A
2 業務の継続性・安定性		A

総合評価の考え方	
評価項目ごとの評価をそれぞれ S = 4 点、A = 3 点、B = 2 点、C = 1 点として4項目（または3項目）の合計点数を算出し、そのうち「C」評価が1つ以上ある場合はその合計点数から1点減点し、下表の区分により総合評価を決定する。 ただし、評価ポイントにおいて「1」や「×」といった理由が重大な内容である場合は、総合評価を「C」評価とする。	
	

(2) 二次評価コメント

＜生涯学習交流センター＞
1周年を迎える現在、計画どおりの安定した事業運営がされています。利用者へのアンケート結果からも、施設のきれいさと並んで施設職員の接遇の良さを評価する声が多く寄せられており、満足度の高さにつながったものと考えます。合わせて立地の良さらにも講室の利用率が非常に高いものになっています。図書館の利用者と共用されるロビーの賑わいや、イベント利用の多さ等が要因で、利用者の不満・要望への対応や調整にあたることも多いと思いますが、引き続き丁寧な対応に努めていただきたいと思っています。
イベントについても、職員講師による講座から著名人によるセミナーまで多種多様な事業を実施していただいており、交流センターの独自色を出した事業を企画・実施されている点は評価できるものです。特に連携事業では、市民・地域・民間（事業者）の各方面と地域連携を図り、生涯学習市民センターを通して「街のにぎわいづくり」につながる事業展開ができていました。市民や地域を巻き込むことにより、施設・地域・市民がともに成長・発展できる関係が生まれることと思いますので、引き続き注力していただきたいと思っています。また、ロビー事業では、訪れた人が気軽に参加できる多彩なメニューを用意され、人気の催しとして確立されてきていますので、今後においても「交流センターに来れば、何かやっている」「面白い何かに出会える」という魅力的な企画を期待しています。一方、初心者向けワークショップ等では、幅広い層をターゲットに据えて企画され、中でも「ロードバイクに乗ろう!」「盆栽×ジオラマで作る!」手のひら「盆づみ」ワークショップといった従来のセンターではないような企画が見られました。若年層の参加者を拡大することは、市のセンター全体での課題となっているところですので、引き続き、若年層を念頭に置き工夫を凝らしていただきたいと思ひます。年間の事業数については規定数以上の実施を計画していただいていますので、下期も計画どおり事業を実施していただきたいと思ひます。

＜市駅前図書館＞
1周年を迎え、京阪枚方市駅直結という立地条件もあひまって利用状況は、高い水準を保っており、特に予約冊数は他分館との比較においてもトップレベルです。予約受取ロッカーの稼働率や返却ポストの利用率も高く、市民からの認知度もかなり上昇しています。また、貸出をはじめとする定例の図書館事業に加え、多数のイベント・行事を実施するのみならず、積極的に外部イベントへの参加・連携などを実施され、市立図書館のPR、利用者数の増加に貢献されていると考えます。
一方で、ボランティアとの協働においては、図書館に関心を持っておられる市民を図書館サポーターとして支援するなど、引き続き良好な関係を築いていただきたいと思ひます。今後も駅前の商業施設やまると子どもセンターとの併設という強みを生かし、利便性の高い図書館として機能されることを望みます。
これからも従来の図書館のイメージの殻を打ち破る斬新な取り組みを期待するとともに、上期で取組継続中の事業や取組み予定の事業については、下期で計画通りに推進していただきたいと思ひます。

5 改善指示への対応状況				これまでの定期モニタリング、日常モニタリング、外部評価その他監査等の結果をふまえて市が改善指示を行った事項について確認してください。
指示を行った時期	内 容	対応状況		根拠 (資料名等)
	該当なし			

6 添付資料

◆収支・利用状況